

第53回 全国吟剣詩舞道大会

令和五年 十二月十日(日) 九時半開場 十時開会
市川市文化会館・大ホール

主催●公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会
後援●文化庁・千葉県・日本財団・NKK

日本財団助成事業 高松宮妃癌研究基金奉賛

第53回 全国吟剣詩舞道大会

吟と舞の祭典

全国八地区連絡協議会による
企画番組集

全国吟詠合吟コンクール

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会



月刊「吟剣詩舞」/毎月1日発行
サイズ:B5判/頁数:32頁程度/定価:500円
年間購読料6,000円は、
年間割引適用により5,000円となります。
発行・発売/公益財団法人日本吟剣詩舞振興会
TEL. 03-6721-5950/FAX. 03-6721-5960

吟剣詩舞 新創刊!

月刊吟剣詩舞は、より親しみやすく身近な話題、日頃の吟剣詩舞研鑽のお役に立てる情報をまとめたものに一新することになりました。

吟剣詩舞の最新情報が欲しい方には、
会報の年間購読をお勧めします！
日本吟剣詩舞振興会が発行する月刊「吟剣詩舞」は、
全国の吟剣詩舞愛好家の皆さまの情報誌として毎月発行されています。
振興会の公式行事や各地で開催される大会の様相、
吟剣詩舞に関する専門的知識解説、テレビやラジオでの放送内容や番組表など、
吟剣詩舞ファンにとって見逃せない情報が満載されています。

サンシャイン社広告
4色データ待ち

令和 6 年度 全国吟詠コンクール指定吟題収録

少壮吟士

少壮吟士愛吟集

愛吟集 digest 9

ダイジェスト

好評発売中! CD 2,500円

令和 5 年度 全国剣詩舞コンクール決勝大会

とき/令和5年9月24日 ところ/門真市民文化会館
(レミエールホール)

剣舞入賞者 DVD 6,000円

詩舞入賞者 DVD 6,000円

剣舞・詩舞入賞者 DVD

セット特別価格 10,000円

令和 5 年度 全国吟詠コンクール 決勝大会

とき/令和5年9月18日 ところ/一ツ橋ホール

C D 2,000円

DVD 5,000円

♪ 天使の歌声 ♪

ミステイク

MYSTIC

徳用ボトル1個購入に付き
3袋(1,500円) サービス!!

1時間後からが絶対好調になります!!



徳用ボトル
(66粒入り 22回分)
7,800円



(3粒入り 1回分)
1袋 500円

吟剣詩舞道伴奏集

続 吟剣詩舞道伴奏集



C D カセットテープ
〈1枚〉3,000円 〈1巻〉2,000円



C D カセットテープ
〈1枚〉3,000円 〈1巻〉2,000円

目次

開催にあたり	1
祝 辞	2
大会役員	5
大会次第	17
式典次第	18
全国吟詠合吟コンクール	21
幼少年代表・開催地代表 推薦吟剣詩舞	36
全国コンクール優勝者の披露	40
全国八地区連絡協議会による企画番組集	47
全国吟詠合吟コンクール入賞団体発表と表彰及び大合吟	68

さんしゃいん社

愛知県豊橋市花田町小松53-2

電話 (0532) 32-1259 FAX (0532) 32-4231

URL <http://www.sunshine-sya.com>

電話・インターネットでのご注文、お問い合わせもお気軽にどうぞ!!

さんしゃいん社

検索

LINE instagram



第五十三回全国吟剣詩舞道大会の開催にあたり

いまこそ吟剣詩舞道の振興と 事業のさらなる活性化を目指すとき

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会 会長

沼崎 富

このたび、全国吟剣詩舞道大会が、日本財団助成事業・高松宮妃癌研究基金奉賛大会として開催されますことは、吟剣詩舞道界にとつて、非常に意義深いことであります。

ご周知のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大により、斯界も厳しい時期が続き、各流派、会派の皆様方には、言葉に現わせないご苦労ご心労は如何ばかりかと、心中ご推察申し上げます。次第でございます。

こうした状況にある今こそ、日本の歴史の中で生まれ、日本人自身が育ててきた伝統芸道である吟詠、剣舞、詩舞を、全国の指導者と会員の皆様のご協力をいただき、吟剣詩舞道を推し進めることが大切であると感じております。

本大会のメインの一つである全国吟詠合吟コンクールを一チーム十五名として実施するとともに、全国コンクール優勝者による披露、幼少年代表・開催地区代表による演舞、そして特別企画番組として、全国八地区連絡協議会による構成番組集等、見応えのある充実の一日となるものと思っております。

本大会を契機に、吟剣詩舞愛好家のみならず、広く社会一般の方々に吟剣詩舞の素晴らしさについて、改めて知っていただく良い機会になることを切望するとともに、この芸道の向上と普及の先に、これを本格的な国民芸道、すなわち、真の国民文化として発展させていきたいと考えております。

ここに日本財団の温かいご支援に深く感謝を申し上げますとともに、今後いつそうのご協力をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

祝辞

日本財団 会長 笹川陽平



このたび、第五十三回全国吟剣詩舞道大会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

創設者である笹川良一は、かつて、このままでは「日本は経済で栄えて魂で滅びる」と憂えていました。物質的な幸せとともに精神的な充実感、この均衡が取れてこそ真の日本人といえるのではないのでしょうか。吟剣詩舞は、人の魂に栄養を与えるにまたとない芸道です。また、次代を担う青少年に礼と節、思いやりと親孝行を教え、協調と友愛の心を育むものでもあります。一人でも多くの次代を担う青少年の参加を期待したいものです。

さらに、この日本の伝統芸能を通して、海外の方々に日本文化の豊かさや日本人の精神性を広く周知していただきたいと思います。

又、私がライフワークとして取り組む、ハンセン病の制圧活動に長年にわたり皆様方からの浄財を頂戴しておりますことに御礼申し上げます。今年は特に、お亡くなりになられた会員の方から六千万円超のご資金を遺贈により、笹川保健財団にご提供をいただきましたことにつきまして格別の御礼を申し上げます。

今回の大会が、日本を代表する伝統芸能として再認識される機会となるとともに、本日の大会のご成功と、ご来会の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

祝辞

文化庁長官 都倉俊一



この度、第五十三回全国吟剣詩舞道大会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本大会は、吟詠や剣舞、詩舞の普及奨励と、芸術的向上に資することを目的に毎年開催されていると伺っております。主催者である公益財団法人日本吟剣詩舞振興会におかれましては、昭和四十三年に設立されて以来、本大会の開催をはじめ、日本の伝統的な芸道である吟詠、剣舞、詩舞の向上発展のため、長年にわたり活動してこられました。こうした活動は、我が国の文化芸術の振興に大きく寄与するものであり、関係者の皆様の御努力に深く敬意を表します。

吟剣詩舞道は、礼と節をその心とし、詩歌に親しんで情操を高め、日本人の心を探求しながら、自己の陶冶を志向する芸道であるとされております。日々の研鑽によって、先人から受け継いできた礼節を修得することはもとより、個々の創造性や表現力を高め、伝統文化を次世代へ継承・発展させていくことは、大変難しいことですが、とても重要な意義を持ちます。

本大会は、流派や世代を超えて全国各地の吟剣詩舞道家の方々が一堂に会する祭典です。御出場の皆様におかれましては、本大会の出場に向けて精進を続けてこられたことでしょうか。この晴れの舞台を十分に楽しみつつ、日頃の成果を存分に発揮いただければと思います。また、御来場の皆様にも、洗練された演舞等の数々から、吟剣詩舞の素晴らしさを感じていただければ幸いです。

文化庁は本年京都へ移転いたしました。歴史と文化が溢れる京都への移転を契機に、より一層伝統文化の継承・発展に寄与していくとともに、新たな価値の創造についても力を入れて取り組んでいきたいと考えております。皆様の御理解・御協力を賜ればと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

結びに、本大会の成功と、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会をはじめ関係の皆様のご健勝を祈念して、本大会に寄せるお祝いの言葉いたします。

吟剣詩舞道憲章

詩歌は人の心の表現であり、すぐれた詩歌は人類文化の遺産である。われわれの先達は、この詩歌を吟じ、その吟により舞うことを考え、芸としての向上進歩を目ざして精進努力を重ね、吟詠、剣舞、詩舞という、わが国独自の高雅な芸道を育てあげた。

吟剣詩舞道は礼と節を、その心とする。詩歌に親しんで情操を高め、日本民族の心を探究しながら自己の陶冶を志向するこの芸道こそ、わが国の精神文化の高揚に不可欠のものである。

われわれは、この価値ある吟剣詩舞道を受け継いだことに大きな誇りをもつと同時に、各人の研鑽と相互の協力によって、ますます斯道を隆盛に導く責任を果たさなければならぬ。しかも、その実践はこの芸道の心、すなわち礼と節の上にたたなければならぬ。その軌範として、この憲章を制定する。

昭和五十年一月十一日

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

会長 笹川良一

ほか役員一同

大会役員

大会 会長	沼崎 富	大会 副会長	徳田 寿 将 風	同 実行委員	池内 賢二 藤上 翔山 清水 錦洲 杉浦 英容	同 特別顧問	山岡 哲山 岡田 禧洲 内田 容楓 山内 正風 多田 満藤	同 顧問	松永 悠楓 藤上 南山 石川 春洋 志塚 心将 大橋 宗将 勝部 吼嶺
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星
吉田 魁桜	河野 昭鶴	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	吉田 魁桜	安田 水鈴	入倉 昭星	安田 水鈴	入倉 昭星

一、基本姿勢

吟剣詩舞道を行なう者は、礼と節とを行動の軌範とし、日々芸の研鑽と品性の陶冶に努める。

二、指導者の心構え

吟剣詩舞道を指導する者は、みづから師たるにふさわしい人格、識見を備え、指導全般にあたっては、権威をもって臨む。

三、師に対する心構え

吟剣詩舞道を学ぶ者は子弟の礼節をわきまえ秩序を堅持する。

四、分家 独立

吟剣詩舞道を行なう者が分家、独立する場合は、その組織を代表する者の許しを得る。

五、他流との関係

吟剣詩舞道を行なう者は、他流の名誉を傷つけ、秩序を乱すような言動は厳に慎しむ。

六、吟剣詩舞道の普及向上

吟剣詩舞道を行なう者は、大衆性と芸術性とを併せもつ斯道の今日像を正しく伝え、特に青少年層における吟剣詩舞道の普及向上に努める。

七、吟剣詩舞道の目標と相互の協力

吟剣詩舞道を行なう者は、相互に強調、互譲の精神をもって斯道の普及振興に協力し、本会の認める姉妹団体とも、動物有機体的団結をもって、日本の伝統に基づく、国家社会の正しい発展に寄与する。

川原 靈宗 森山 明山 宮野 誠尚 藤河 賀久清
 浅田 聖風 熊本 龍慧 薦田 尚南
 白男 精正 山下 光峰 高橋 瑞祥
 深浦 吟煌 平岡 穂峰 古庄 吟法
 三橋 吟正 山崎 明穂 田村 天聖月
 中岳 裏精 毛塚 静洲 足立 育城
 渡邊 皇岳 澤石 峯洲 寺嶋 城靖
 鈴木 海洲 久保 正峰 小嶋 林章
 寺山 誠紀 山本 演志 小嶋 峯苑
 石井 靈山 赤峰 郁志 後白 井昊
 林井 奉城 中嶋 宗聖 春菜 藤滉
 矢橋 奉城 鈴木 宗聖 池田 嶺滉
 木村 鳳鶴 飯田 報信 松澤 楓
 前濱 錦鳳 楠部 齋山 上澤 天
 浮津 虔山 山城 信山 惠

総務・庶務委員長

総務副委員長

委員

毛塚 静精
 山下 神燈
 吉澤 蝶心

梶原 麗修

牧

蘇新

庶務・賞状作成副委員長

委員

山田 伯峯
 石井 嶺亮
 横山 吟友

石井 錦文
 齋藤 風瑛
 藤田 霜晃

田崎 鴻聖
 縣 鷹雪

資材管理委員長

同副委員長
 委員

鈴木 洲玉
 滝本 紫苑
 荒井 剛嶺

小池 洵風
 鈴木 誠敬

来賓受付委員長

同副委員長
 委員

上久保雪女
 宇井 修光
 吉野 煌瑤

来賓接待委員長

同副委員長
 委員

星野 洲虹
 小湊 壮雲
 荒崎 紫有

星野 紫栄
 荒崎 紫春

一般受付・会員券委員長

同副委員長

石井 桃苑
 木村 風鶴

広町 心純

笹野 正廣

太田 修道

出演者受付委員長

同副委員長
 委員

齋木 彩染
 榊 裳風
 灘部 彩鈴

猿渡 柳水

星野 星滄

石田 鳳章

小谷野煌弘

司会委員長

同副委員長
 委員

田中 国臣
 丹治 独風
 大山 宗鵬

今村 契鉅

石川 春海

音響委員長

委員

岡田 一穂
 湯口 岳政

和田 尤堂

木屋 萩優

吟詠連絡舞台委員長

連絡副委員長
 委員

佐々木翠鵬
 福田 劔鵬
 海老原研山
 金井 真仙

小林 棋水
 大森 大仙

小池 棟水
 市倉 詩鵬

須藤 紘誓
 三浦 功鵬

大河原誓獅
 神原 健鵬

彦坂 澄仙
 清田 雪鵬

舞台副委員長 垣下 真秋
委員 迫 翔家
奥谷 宝昌
田中 萩由
大滝 李鵬
村田 萩帆
林 惠鵬
秋田 吟瑛

舞・連絡舞台委員長 石井 誠紀
連絡副委員長 師岡 凱銳
委員 湊 紀器
竹田 秀玄
高津 秀恵
山田 紀赫
巢瀬 紀潤
遠藤 紀明
前島 紀道
山名キヌエ

舞台副委員長 藤田 秀雲
委員 多嘉良誠翔
野中 紀導
橋場 紀要
藤田 秀蘭
高橋 秀翠

会場委員長 小峯 昊苑
同副委員長 三枝 契憲
委員 薄井 是道
須藤 紘誓
佐藤 瑞鳳
古城 精宝
溝口 景泉
佐藤 志正

広報委員長 鈴木 吟亮
同副委員長 白男川 鸞苑
委員 齋藤 吟陽
安瀬 吟花

競吟委員長 熊木 雪洲
同副委員長 高橋 嶺香
委員 土方 昊鶴
中野 吟紫
伊藤 契麗
加藤 契琵

式典委員長 田中 竜真
同副委員長 武藤 嶺栄
委員 目黒 恭鵬
栗本 溪山
井上 鳳獅
栗本 溪将
巒 溪風
竹内 正城

大会本部
事務局長 大田 直樹
事業課長 大塚 政暢
総務課員 森谷 文子

小林 千容

吟詠テキスト(A4版) 上段には詩文にアクセントと解説
下段には十線譜に音程を表記

- ◆中国絶句編〔105題〕…………… 3,000円(税別)
- ◆日本絶句編〔125題〕…………… 3,200円(税別)
- ◆短・和歌編〔115題〕…………… 3,500円(税別)
- ◆中国律詩編〔66題〕…………… 3,400円(税別)
- ◆日本律詩編〔63題〕…………… 3,600円(税別)
- ◆吟詠と音の関係について…………… 2,800円(税別)
- ◆詩吟と歌を結ぶ声の高さ…………… 2,500円(税別)
- ◆尺八・箏の詩吟伴奏…………… 4,500円(税別)

吟詠カラオケ 音程別伴奏カセットテープ
(低10本(水3)~9本まで12音階)

- ◆一般編(尺八・箏)…………… 2,200円(税別)
- ◆祝賀編(尺八・箏・十七弦・鼓・横笛)…………… 2,200円(税別)
- ◆オーケストラ編(シンセサイザー)…………… 2,200円(税別)
- ◆絶句編(尺八・箏)…………… 2,000円(税別)
- ◆和歌編(尺八・箏)…………… 2,000円(税別)

(有)三協図書出版社
〒502-0004 岐阜市三田洞861番地の2
TEL058-237-5837(代) FAX058-237-6651

山本 兼正
 清水 穂晨
 菅源 右光
 青柳弦太朗
 古賀 桜紅
 齋木 彩染
 田中 竜真
 米山 岳麗
 池田 菖黎
 木戸 一声
 二神 清鷹
 松本 緑扇
 上岡 眺壯
 菰田 鳳秀
 松田 國旺
 下村 吟紀
 野中 琴風
 広町 心純
 小池 驚苑
 小沼 曉風
 小沼 瀨玉
 小林 春芳
 石川 煌研
 長谷川 翔善
 立田 興國
 篠崎 享陽
 岡本 岳佑
 浦田 岳穂
 落合 穂穂
 笠井 栄俊
 松井 松聲
 大島 需泉
 藤井 芳洲
 八代光晃子
 星野 洲虹
 和田 彩楓
 前山 紫峰
 佐々木穂景
 森岡 盟山
 野中 秀宗
 向山 侑真
 渡辺 紘山
 森脇 櫻泉
 橋本 精涼
 佐藤 旭洲
 栗田 姚雲
 小田 映洞
 谷山 岳新
 長谷川 煌道
 中田 子鳳
 土屋 惠鵬
 三枝 契憲
 秋山 精正
 小松 獅劍
 椿山 嶋邦
 武仲 神憲
 赤塚 瑞朋
 西口 琴玲
 高橋 岳洲
 鈴木 心楊
 吉田 龍心
 渡辺 星琴
 水谷 貴洲
 原 契如
 杉本 豊翠
 野坂 隆玄
 桃山 玉涛
 田代 琇峰
 長江 奉星
 村瀬 郊風
 岡田 精峰
 石野 北星
 石塚 清仁
 郡司 精政
 奥積 修葉
 榊原 静瑗
 林 扇華
 武藤 嶺榮
 吉田 帛鵬
 渡辺 錦翔
 山室 瑞山
 小笠原 岳鋒
 後藤 真風
 三浦 東洲
 青山 隆陽
 島 岳周
 館田 錦風
 佐藤 凱涼
 瀬間 踪心
 安増 源洲
 平原 東道
 藤貴 鳳扇
 林 煌成
 片山 奏鵬
 福田 秀峰
 長嶋 契学
 川嶋 絢寶
 酒井 博邦
 松岡 岳伸
 久保田 章風
 岡田 一穂
 藤原 光伶子
 足立 緑曄
 橋本 清邦
 田畑 水姫
 見城 星舟
 石井 桃苑
 埜本 朋穂
 大野 豊寿
 柿内 岳正
 多田 正晃
 黒田 秀月

稲葉 岳詔
 中谷 将鳳
 藤本 紫滔
 植村 鷺登
 妙中 快紀
 千田 岳鵬
 福嶋 賀久淳
 佐々木 龍花
 谷本 鵬泉
 神崎 江龍
 泉 耕光
 桃井 鴻春
 濱田 翠峰
 濱田 優聖
 緑川 岳涛
 折敷 瀨緋露静
 梯 劍麗門
 久保 正鳳
 東田 鶯洲
 金子 君峰
 河上 麗風
 愛知 紫嵩
 洞 叡城
 金戸 静華
 河田 婉城
 河村 志風
 菊池 梅憬
 中津川 瑞津
 岩崎 岳萌
 坂井 岳静
 小嶋 水心
 鈴木 永山
 北川 鳳鼓
 川口 芳葉
 藤岡 鴻琳
 藤木 翠華
 西向 寺静邦
 為広 泰鈴
 田村 江道
 嵯峨 龍煌
 大平 瑞應
 豊崎 士泉
 福光 季瑞
 山根 智陽
 山北 鈴川
 宮崎 透山
 竹内 淳泉
 藤木 岳龍
 林 精郷
 垣下 真萩
 今村 彩邦
 小嶋 峰翔
 藤田 風風
 吉村 應洲
 竹内 龍馨
 若狭 仙秀
 藤原 黎元
 笹井 岳煌
 石橋 穂浩
 岡田 桜幻
 森宗 呀城
 辻本 水桂
 中西 撰奨
 向山 滄洲
 土井 典周
 草薙 瑞瑤
 大平 瑞翔
 大越 清透
 斎藤 公昂
 土江 鴻雲
 正野 選靈
 岩田 栄彦
 庸 栄彦
 牧 庸霊
 江口 撰狂
 高巢 娟峰
 稲田 菖胤
 大金 寿楓
 藤井 伯陵
 田崎 鴻聖
 荒井 箕洲
 寺田 洋洲
 松野 春秀
 矢野 惊泉
 新名 霊靄
 吉田 稲山
 山本 翠浩
 佐藤 岳秀
 高田 兼風
 小林 快川
 大場 岳正
 芳倉 清峰
 山本 鷺風
 佐々木 翠混
 二宮 信風
 木村 幻泉
 山内 松混
 中野 應泉
 島口 豊光
 木地 公彩
 松山 櫻鳳
 椎原 大雅
 野上 眞霊
 石村 岳光
 濱崎 暁舶
 亀山 尚仇
 齋藤 心晃
 清宮 吟照
 中嶋 美声
 竹内 騎峰
 井上 梓泉
 前川 鯉佳
 小坂 蘆洲
 小田 孝風
 亀谷 龍藍
 福井 桜也
 山城 明洲
 久保田 昌風
 山村 素心
 上田 水学
 縄本 東嶺
 坪井 誓山
 長尾 岳鷺
 長田 岳心
 福家 鳳山
 田原 莊洲
 萱本 如泉
 河村 昇山
 長尾 岳鷺
 坪井 誓山
 長嶋 契学
 川嶋 絢寶
 酒井 博邦
 松岡 岳伸
 島 岳周
 久保田 昌風
 山村 素心
 上田 水学
 縄本 東嶺
 坪井 誓山
 長尾 岳鷺
 長田 岳心
 福家 鳳山
 田原 莊洲
 萱本 如泉
 河村 昇山
 長尾 岳鷺
 坪井 誓山
 長嶋 契学
 川嶋 絢寶
 酒井 博邦
 松岡 岳伸
 島 岳周

八森 悠生 星滄 溪月 鳳翔 霜冕 國愛 墨粹 山本 征香 杉村 翔鵬 鳥居 天心 中田 紫龍 万代呂 眺藍 黒澤 頌風 田中 佳景 下河邊 芳紀 青柳 秋山 翠柳 藤本 靜壽 加藤 燦泉 長尾 曾泉 中村 江風 野方 洋泉 河端 若翠 藤岡 江心 山本 紫煌 高島 水功
 小林 翠晴 石田 鳳章 永田 春濤 櫻堂 和洲 檜山 紫翔 野地 落風 森下 聡陽 長谷川 京楓 鈴木 君星 高瀬 輝風 山崎 天誠 中嶋 宗山 溝脇 詩景 長嶋 蓮風 大木 岳扇 猪木原 滙泉 森島 麗桜 小林 翠山 二井谷 健山 新内賀 久隆 白濱 妃風 関口 麗煌 鍛冶田 洗風 川原 靈鵬 高口 姦泉 三瀬 松宣 武田 翠信 大森 麗禎 林 景華
 菅野 正廣 小谷野 煌弘 北川 鍛星 龜井 麗岳 志村 静紅 小倉 契秀 岡本 義仁 米岡 彰峰 高橋 精慎 堀 箕岳 中川 岳湧 林 龍山 安倍 呈風 和田 正榮 中町 佳洲 大山 馨泉 大下 馨風 片山 久山 蘭田 華山 道田 煌山 山本 龍貴 松浦 良紀 佐々木 政風 吉岡 靈裕 篠原 靈菁 森 慧洲 西瀨 秀蘭 宮本 勢洲 吉田 泰山
 田代 鐔燈 御手洗 貴顯 大関 勝風 吉野 煌瑤 門倉 香江 伊藤 契麗 掛布 篁華 辻 由美 山田 錦翠 経田 岳悠 岡田 矜月 田中 心泰 佐々木 秀景 柏木 鯉岳 藤原 撰鵬 今脇 萌山 増田 珽山 小谷賀 清範 白井 翠画 竹森 彪華 菅源 左翔 菅野 翔泉 日下 丘泉 福井 姚泉 山本 靈粹 西藤 櫻山 矢野 翠楓 大野 江姚 田村 水龍 井上 幹山
 山城 鷺神 石井 錦文 牧 蘇山 山崎 神雲 黒柳 誠心 梶原 麗修 伊藤 正峰 清水 燎鵬 神林 秀洲 山田 天翔 石田 天麗 中西 剛賀 安田 静月 田中 撰洋 土本 堤声 内藤 秀山 青木 劍心 中島 翔竜 楠部 倫山 菅源 右近 伊井野 翔踪 日下 翔泉 福井 姚泉 山本 靈粹 西藤 櫻山 矢野 翠楓 大野 江姚 田村 水龍 井上 幹山

溝口 國透 山尾 誓慶 宮川 紫茜 鈴木 遊月 根布谷 翔月 高橋 嶺香 滝本 紫苑 中村 義明 齋藤 胡心 後藤 娟桜 山田 静将 中村 旭聖 古田 哲壯 倉本月 華城 日野 鳳昇 前原 洋風 野田 湘風 岡崎 雄光 坂東 鴻奏 有澤 翠円 吉竹 誥靈 北原 神勢 永田 岳鸞 宮崎 精英 藤田 吟孜
 寺林 錦紗 伊藤 岳眺 皆川 龍旺 大塚 隆豊 粕谷 鳳堂 加藤 岳紅 菅原 静磨 大川 清城 出島 岳将 加藤 象山 北川 水正 田中 祐泉 細田 璋行 杉原 馨仁 原田 瑞祥 和泉 靈花 坂本 香峰 大窪 勢鶯 安藤 鴻蓉 小塩 晃楼 湯本 阮靈 向山 侑里 吉村 廣山 中山 優堂 関根 靖桜 柳本 豊州 多田 岳洲 澤上 吟琇 藤田 吟孜
 長谷部 紫帛 佐藤 刀洲 杉林 光樹 佐藤 光樹 中野 吟紫 小池 洵風 谷地 煌水 酒井 南賜 北瀬 岳櫻 堀口 孝心 鉤 正賀 小川 岳嶺 平 水昂 秦 早洲 奈良 靈城 尾松 靈幹 宇都宮 清克 矢野 公琇 明神 岳春 葵 秀鳳 内藤 光廉 池田 趣峰 緒方 趣幸 津村 義恵 吉田 徳桜 梅田 錦翠 佐藤 旭峰 土澤 美岳
 館岡 奥鵬 高橋 一誠 船田 茨翠 江口 清鳳 榊 裳風 魚住 伸水 美咲 龍庵 柳原 宏峰 本野 岳耀 稻垣 岳峰 湯崎 岳峰 青柳 慧月 尾崎 芳榮 高木 合泉 尾崎 婉風 高木 婉風 秦 綾洲 松原 綾風 橋崎 圭風 篠原 脇泉 市原 善鶯 大勝 秀春 永瀨 楠風 森 豊彗 鳥生 蘇弘 池田 岳彩 日向 梅峰 奥原 櫻翔 佐藤 宸洲 井川 邑帥 師岡 凱銳
 庄子 輝泉 金子 凱恍 木村 峰月 鷺見 國仁 山田 彩綺 奥谷 宝昌 奥田 重溪 杉田 宝昌 柳原 宝勳 井戸 錦正 中村 紫堅 中村 雄声 笹野 華翠 杜野 勝峰 秦 勝洲 松原 鶯洲 橋崎 綾風 篠原 脇泉 市原 善鶯 大勝 秀春 永瀨 楠風 森 豊彗 鳥生 蘇弘 池田 岳彩 日向 梅峰

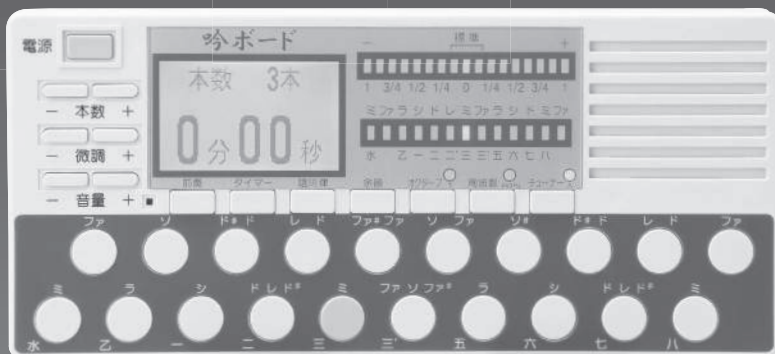
大西 静岳 徳橋 鵬聖 岡田 容映 村上 岳咏 瀧下 鵬龍 長崎 岳聆 下村 容宗 北村 秀綜 田中 靈鳳 秋山 容芽 谷田 姿城 西村 靈洗 窪内 寬鳳 岡林 紫秀 中澤 鳳扇 古賀 鸞鳳 堀 晃生 西村 容育 長谷川 芳泉 小塩 岳翔 和鳴 克峰 岩田 榮篁 石田 翔祥 江藤 光鈴子 廣瀬 光詔子 原田 光玲子 嶼川 内藤 靈 岩本 光弘子 伊藤 光興子 藤本 光瑛 日下 光真子 春藤 光馥子 大野 光宏子 三木 勝風 服部 桜局 古川 岳勝 中川 義若 北村 桜京 有澤 岳幸 富永 紅星 高根 麗峰 山 中 鈴鷺 藤城 宗丈 後藤 祐岳 宮原 侑曲 森田 一星 川上 和星 榮 岳蓉 白野 酬月 五月女 凱昂 宇井 修光 古川 渾風 川上 秋水 大野 酬月 今村 契鉅 加藤 契毘 成田 秀桜 丹羽 龍風 白男 鸞苑 寺本 龍山 小嶋 一心 上田 水風 木村 將暉 田辺 永心 安倍 秀風 佐々木 伸山 小川 聡風 玉井 薫風 金立 鳳山 寺澤 松苑 寺尾 静咲 井上 燧菖 中野 琇城 村田 瑞龍 名越 松苑 大西 環泉 田中 琇城 田中 靈明 堅田 妙游 河野 声洲 熊谷 栄亮 上野 史星 山中 梅鈴子 伊東 響峰 大野 豊華 小林 悠瑞 大木 國晶 立見 岳元 野村 岳粹 砂澤 紫齋 穴戸 岳荘 菊池 岳東 宮島 神鳳 上田 岳美 高田 峰精 藤尾 志寿輝 慶 濤 正 之 丞 一 條 岳 皇 上 田 岳 美 鬼澤 吟瑛 中澤 吟湧 見城 心隼 高橋 清洲 国分 国壮 太田 修道 甕 溪風 竹内 正城 石川 春海 神尾 昭城 迫 翔豪 上田 翠風 和田 現洲 大谷 溪祥 榎井 孝風 坂本 茶慧 林 柳冠 吉田 惠峰 吉本 糸風 末永 翠峰 吉田 瑞友 林 柳冠 齊藤 靈佐 和田 岳秀 松田 岳秀 齊藤 靈佐 末永 翠峰 和田 瑞友 林 柳冠 齊藤 靈佐 末永 翠峰

大西 静岳 徳橋 鵬聖 岡田 容映 村上 岳咏 瀧下 鵬龍 長崎 岳聆 下村 容宗 北村 秀綜 田中 靈鳳 秋山 容芽 谷田 姿城 西村 靈洗 窪内 寬鳳 岡林 紫秀 中澤 鳳扇 古賀 鸞鳳 堀 晃生 西村 容育 長谷川 芳泉 小塩 岳翔 和鳴 克峰 岩田 榮篁 石田 翔祥 江藤 光鈴子 廣瀬 光詔子 原田 光玲子 嶼川 内藤 靈 岩本 光弘子 伊藤 光興子 藤本 光瑛 日下 光真子 春藤 光馥子 大野 光宏子 三木 勝風 服部 桜局 古川 岳勝 中川 義若 北村 桜京 有澤 岳幸 富永 紅星 高根 麗峰 山 中 鈴鷺 藤城 宗丈 後藤 祐岳 宮原 侑曲 森田 一星 川上 和星 榮 岳蓉 白野 酬月 五月女 凱昂 宇井 修光 古川 渾風 川上 秋水 大野 酬月 今村 契鉅 加藤 契毘 成田 秀桜 丹羽 龍風 白男 鸞苑 寺本 龍山 小嶋 一心 上田 水風 木村 將暉 田辺 永心 安倍 秀風 佐々木 伸山 小川 聡風 玉井 薫風 金立 鳳山 寺澤 松苑 寺尾 静咲 井上 燧菖 中野 琇城 村田 瑞龍 名越 松苑 大西 環泉 田中 琇城 田中 靈明 堅田 妙游 河野 声洲 熊谷 栄亮 上野 史星 山中 梅鈴子 伊東 響峰 大野 豊華 小林 悠瑞 大木 國晶 立見 岳元 野村 岳粹 砂澤 紫齋 穴戸 岳荘 菊池 岳東 宮島 神鳳 上田 岳美 高田 峰精 藤尾 志寿輝 慶 濤 正 之 丞 一 條 岳 皇 上 田 岳 美 鬼澤 吟瑛 中澤 吟湧 見城 心隼 高橋 清洲 国分 国壮 太田 修道 甕 溪風 竹内 正城 石川 春海 神尾 昭城 迫 翔豪 上田 翠風 和田 現洲 大谷 溪祥 榎井 孝風 坂本 茶慧 林 柳冠 吉田 惠峰 吉本 糸風 末永 翠峰 和田 瑞友 林 柳冠 齊藤 靈佐 和田 岳秀 松田 岳秀 齊藤 靈佐 末永 翠峰

吟ボード

注

声の音程を優先表示できる
コンダクター（音程チューナー付）は、
吟ボード（GB-250）しかございません!!



寸法：幅 220mm × 奥行 100mm × 高さ 27mm

定価 34,800円 (税込 38,280円)

*金利・手数料のかからない分割払いも承ります。

GB-250 音程チューナー付

- ① 外部マイクの差し込み口があり、CD伴奏曲と併用できます。
- 注 この差し込み口も、吟ボード（GB-250）にしかありません！
- ※これがないと、CD伴奏曲と併用できません。（調和の練習）
- ② 弾いた曲を三曲録音（全本数で再生）

Q 吟ボード（GB-250）の特長を教えてください。

A 音程チューナー機とコンダクターが合体して一体型になっております。吟ボードの音程チューナーはスピーカーから出る音に反応しませんので、コンダクターを弾きながら声の音程チェックが出来ます。これは吟ボード（GB-250）にしかない機能です。通常は音程チューナーが楽器の音にも反応する為、イヤホンを使って音を消すしか方法がなく面倒です。ご注意点ですが声の優先機能がないコンダクターでその認識が無く、楽器の音を拾って反応しているのを声の音程だと思って練習されても意味がありません。吟ボードはお客様が誤った認識をして使用されることがない様、声を優先表示します。また音階部（ラシドミファラシド）と微調部（標準・1/2 狂い等）が連動していますので、全ての音階・音程が色で分かりやすくチェックできます。

音程チューナーのないタイプ

吟ボード GB-500

定価 27,800円 (税込 30,580円)



寸法：幅 220mm × 奥行 100mm × 高さ 27mm

*金利・手数料のかからない分割払いも承ります。

5,000円相当のセット品が無料! [2機種共通]



- ① ACアダプター (コンパクトで軽量) ② 専用ケース (3色) (楽器を保護する素材) ③ イヤホン ④ 単3電池

第53回 日本財団助成事業・高松宮妃癌研究基金奉賛

全国吟剣 詩舞道大会

二〇二三年十二月十日（日）

次第

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 一、開場 | 九時三〇分 |
| 二、式典 | 一〇時〇〇分 |
| 一、全国吟詠合吟コンクール | 一〇時五〇分 |
| 二、幼少年代表・開催地代表
推薦吟剣詩舞 | 一三時一五分 |
| 一、全国コンクール優勝者の披露 | 一三時五〇分 |
| 二、特別企画番組 | 一五時二〇分 |
| 一、全国吟詠合吟コンクール
入賞団体発表と表彰及び大合吟 | 一七時一五分 |
| 二、閉会のことば | 一七時四五分 |

式典次第

〔司会〕 田中 国臣 一〇時〇〇分

- 一、国歌 斉唱
- 二、会長 挨拶 公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会 会長 沼崎 富
- 三、祝電披露
- 四、高松宮妃癌研究基金奉賛目録贈呈
- 五、吟剣詩舞奨励賞授与
- 六、令和五年度吟剣詩舞大賞受賞者発表と表彰
- 七、第四十四期少壮吟士(全国少壮吟詠家審査コンクール優秀成績者)紹介と表彰

令和五年度(第三十七回)

吟剣詩舞大賞 功労賞受賞者

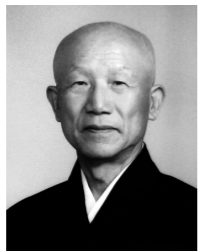
順不同・敬称略



功労賞

小林 北鵬
茨城 八十五歳

朝翠流朝翠会本部副会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会元老



功労賞

白井 寛洲
長野 七十八歳

聖風流吟道会会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会元老、長野県吟剣詩舞道総連盟理事長



功労賞

山田 静将
京都 七十六歳

静吟詩堂吟詠会総本部宗範会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会相談役、京都府吟剣詩舞道総連盟理事長



功労賞

川原 霊宗
香川 八十二歳

剣詩舞道水心黎明流黎明館総本部宗家、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会元老



功労賞

笠井 栄俊
福岡 七十四歳

栄陽流中央栄陽会宗範会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会参議

吟剣詩舞大賞 表彰制度

- 一、趣旨
公益財団法人日本吟剣詩舞振興会(以下「公益財団」という)は、吟剣詩舞道において優れた技量を有する者、及び多大な功績をあげた者を表彰するため吟剣詩舞大賞表彰制度を制定する。
- 二、賞の種類
吟剣詩舞大賞は、部門賞としての吟剣詩舞三賞、及び特別賞としての吟剣詩舞芸術大賞に分けられ、内容は次のとおりとする。
- イ、吟剣詩舞三賞
(1) 文化賞
吟剣詩舞の学術的研究で功績著しい人、及び吟剣詩舞界の全体的な発展啓蒙に功績ある人に与える。
(2) 芸術賞
吟剣詩舞の芸術面で卓越した人に与える。
(3) 功労賞
吟剣詩舞の普及および公益財団運営の面で功績の大きい人に与える。
- ロ、吟剣詩舞芸術大賞
吟剣詩舞の技芸の域が最高にある人に与える。なお、吟剣詩舞芸術大賞該当者が推薦された場合は、文部科学大臣表彰を文化庁を通じて上申することができる。
- 三、表彰の時期
公益財団の主催する全国吟剣詩舞道大会において表彰する。
- 四、選考方法
公益財団会長の諮問機関として、吟剣詩舞大賞選考委員会を設けて選考する。

吟剣詩舞大賞
功労賞受賞者

吟劍詩舞大賞 受賞者

昭和六十年(第一回)
 芸術大賞 笹川 鎮江(東京都)
 功勞賞 諸富 一郎(京都)
 昭和六十一年(第二回)
 文化賞 黒川 哲泉(大阪)
 芸術賞 深田 光靈(大阪)
 昭和六十二年(第三回)
 功勞賞 牛尾 榮洲(東京)
 昭和六十三年(第四回)
 功勞賞 太田 修道(千葉)
 平成元年(第五回)
 芸術賞 横山 岳精(神奈川)
 平成二年(第六回)
 功勞賞 吉岡 清風(愛媛)
 功勞賞 竹末 岳陽(長崎)
 平成三年(第七回)
 功勞賞 牧 蘇山(熊本)
 功勞賞 高群 花子(福岡)
 功勞賞 白神 錦城(大阪)
 平成四年(第八回)
 文化賞 舩川 利夫(静岡)
 功勞賞 菅原 雪山(東京)
 功勞賞 山田正千栄(大阪)
 功勞賞 多田 靖邦(岡山)
 平成五年(第九回)
 功勞賞 伊東 秀峰(熊本)
 功勞賞 妻木 正麟(神奈川)
 功勞賞 早淵 鯉昇(兵庫)

平成六年(第十回)
 功勞賞 後藤 岳星(大阪)
 功勞賞 海老澤宏升(東京)
 功勞賞 石川 春洋(東京)
 平成八年(第十一回)
 功勞賞 伊藤 竹外(愛媛)
 功勞賞 高木 残峰(愛媛)
 功勞賞 野田 紫水(熊本)
 功勞賞 青柳 芳枝(神奈川)
 功勞賞 芳枝(兵庫)
 平成九年(第十二回)
 文化賞 石川健次郎(東京)
 文化賞 青方 健介(東京)
 芸術賞 山岡 哲山(岡山)
 芸術賞 河田 哲山(兵庫)
 芸術賞 入倉 昭星(愛媛)
 平成十年(第十三回)
 功勞賞 石丸 清泉(愛媛)
 功勞賞 高群 華要(福岡)
 功勞賞 荒木 清峰(兵庫)
 功勞賞 山本 晃正(東京)
 平成十一年(第十四回)
 芸術賞 鈴木 吟亮(東京)
 功勞賞 工藤 龍堂(東京)
 功勞賞 浦口 鉄男(北海道)
 功勞賞 武田 静宗(京都)
 功勞賞 大西 麗風(香川)
 平成十二年(第十五回)
 功勞賞 小山 風慧(東京)
 功勞賞 濱田 哲城(大阪)
 功勞賞 河野 吼山(広島)
 平成十三年(第十六回)
 功勞賞 田口 實風(京都)
 功勞賞 若林 芳雲(栃木)
 功勞賞 益中 櫻月(熊本)
 功勞賞 桂 心豊(北海道)
 功勞賞 白杵 鷺泉(香川)
 平成十四年(第十七回)
 功勞賞 榊原 静芳(埼玉)
 功勞賞 小幡 神叙(愛媛)
 功勞賞 坂井 心彰(群馬)
 功勞賞 黒木 厚城(滋賀)

平成十五年(第十八回)
 功勞賞 小倉 契秀(神奈川)
 功勞賞 西出 廣洲(奈良)
 功勞賞 河野 鶴洲(福岡)
 功勞賞 上家 濤邦(愛媛)
 平成十六年(第十九回)
 功勞賞 山中 梅鈴(熊本)
 功勞賞 西形 興信(神奈川)
 功勞賞 清水 照鵬(愛媛)
 功勞賞 松水 悠風(熊本)
 功勞賞 小笠原紫暁(兵庫)
 平成十七年(第二十回)
 功勞賞 大本 旭草(岡山)
 功勞賞 瑞野 瑞城(徳島)
 功勞賞 菊池 吟正(東京)
 功勞賞 福永 瀧壺(大阪)
 功勞賞 今村 騰洲(大阪)
 平成十八年(第二十一回)
 功勞賞 菅原 雪山(東京)
 功勞賞 箕輪 緑崇(大阪)
 功勞賞 太田 修道(千葉)
 功勞賞 梅田賀久秀(広島)
 功勞賞 宮原 伯州(北海道)
 功勞賞 藤井 芳洲(大阪)
 平成十九年(第二十二回)
 功勞賞 藤原 撰楠(兵庫)
 功勞賞 吉見 芳蘭(大阪)
 功勞賞 多田 正満(東京)
 功勞賞 益中 誠風(香川)
 功勞賞 益中 誠風(香川)
 平成二十年(第二十三回)
 功勞賞 石濱 陽明(愛媛)
 功勞賞 藤上 南山(岡山)
 功勞賞 西 岳栄(長崎)
 功勞賞 鈴木 凱山(栃木)
 功勞賞 松尾 岳忠(山形)
 功勞賞 茂木 宋洲(山形)
 平成二十一年(第二十四回)
 功勞賞 杉浦 容楓(愛媛)
 功勞賞 小松 大獅(山梨)
 功勞賞 早淵 鯉松(愛媛)
 功勞賞 岡田 翠松(愛媛)
 功勞賞 豊島 栄陽(福岡)
 功勞賞 辻本 實峰(大阪)

平成二十二年(第二十五回)
 文化賞 篠原 久(東京)
 功勞賞 宮田 実龍(大阪)
 功勞賞 青柳芳寿助(兵庫)
 功勞賞 武田 吟秀(北海道)
 功勞賞 野口 節風(福岡)
 平成二十四年(第二十六回)
 功勞賞 小野光翠(大分)
 功勞賞 矢澤 風慶(神奈川)
 功勞賞 井川 賀登(兵庫)
 功勞賞 山下 岳偉(石川)
 功勞賞 古賀 清竜(愛媛)
 功勞賞 古賀 桜州(佐賀)
 平成二十五年(第二十七回)
 功勞賞 前島 昊龍(東京)
 功勞賞 松岡 萌洲(東京)
 功勞賞 野中 秀風(高知)
 功勞賞 佐々木嶺城(広島)
 功勞賞 多田 鶯霊(大分)
 平成二十六年(第二十八回)
 文化賞 押阪 忍(岡山)
 功勞賞 矢萩 保三(神奈川)
 功勞賞 八代 輝霊(宮崎)
 功勞賞 増田 鹏泉(大阪)
 功勞賞 飯森 寿岳(長野)
 平成二十七年(第二十九回)
 功勞賞 田中 岳藤(長崎)
 功勞賞 安倍 秀風(京都)
 功勞賞 久保田信風(岐阜)
 功勞賞 石川 春洋(東京)
 功勞賞 藤岡 鶴伯(広島)
 功勞賞 三原 瑞頭(徳島)
 平成二十八年(第三十回)
 功勞賞 中山 賢風(北海道)
 功勞賞 横田 岳理(埼玉)
 功勞賞 日置 彩峰(愛媛)
 功勞賞 岡田 岳龍(大阪)
 功勞賞 日枝 師鵬(愛媛)
 功勞賞 三枝 梅風(愛媛)
 平成二十九年(第三十一回)
 功勞賞 畑中 景心(北海道)
 功勞賞 志塚 心将(群馬)
 功勞賞 佐々木 景(京都)

功勞賞 廣重 光風(山口)
 功勞賞 前田 靈泉(香川)
 功勞賞 伊藤 晃績(福岡)
 平成三十年(第三十二回)
 文化賞 河野 正明(神奈川)
 功勞賞 広渡 英治(千葉)
 功勞賞 山路 泰洲(三重)
 功勞賞 横山 寿城(大阪)
 功勞賞 井上 游洲(岡山)
 令和元年(第三十三回)
 文化賞 青野 絃三(愛媛)
 功勞賞 星野 紫虹(神奈川)
 功勞賞 渡辺 櫻虎(静岡)
 功勞賞 多田 正稔(大阪)
 功勞賞 安永 江悠(愛媛)
 令和二年(第三十四回)
 功勞賞 佐々木朝鹏(東京)
 功勞賞 北内 正風(愛媛)
 功勞賞 山本 哲水(奈良)
 功勞賞 山本 賀陽(広島)
 功勞賞 古庄 吟法(熊本)
 令和三年(第三十五回)
 芸術賞 徳田 寿風(香川)
 功勞賞 八文字剛洲(東京)
 功勞賞 杉山 翔鴻(静岡)
 功勞賞 山口 華僑(大阪)
 功勞賞 山口 侑吟(熊本)
 令和四年度(第三十六回)
 文化賞 石垣 清美(東京)
 功勞賞 菱谷 彩佑(東京)
 功勞賞 大伊達 不朽(愛媛)
 功勞賞 早淵 鯉将(兵庫)
 功勞賞 大本 翠山(広島)
 令和五年度(第三十七回)
 功勞賞 小林 北鵬(茨城)
 功勞賞 山井 寛洲(長野)
 功勞賞 川原 諲将(京都)
 功勞賞 川原 諲宗(香川)
 功勞賞 笠井 栄俊(福岡)

令和五年度全国吟詠合吟コンクール

一〇時五〇分～

令和五年度全国吟詠合吟コンクール 実施要項

審査委員長 副会長 徳田 寿風

特別審査委員 会長 沼崎 富 演奏家 河野 正明

審査委員 理事 河野 鶴聲 理事 清水 錦洲 代議員 和田 彩楓

代議員 藤原光伶子 代議員 田畑 水姫 代議員 池田 菖黎

代議員 前山 紫峰

伴奏 財団指定『吟剣詩舞道伴奏集』（本数及び曲目はあらかじめ届け出たもの）による。

運営規定 ①出場団体の吟詠は漢詩絶句一題。吟題は課題吟の中からあらかじめ届け出たものとする。吟詠時間は二分

以内。一節を先導者が独吟し、くり返さず、次の節からすぐ合吟に移るものとする。

②審査は日吟振内規による「吟詠コンクール審査規定」に準じ、各審査委員の持ち点を一〇〇点とし、その合計点によつて順位を決める。一位から三位までを特別入賞とし、四位から二十五位までを一般入賞とする。

上位同点の場合は審査委員長の決裁により決定する。

③賞状と賞品は次のように授与される。

一位 高松宮妃記念旗、日本吟剣詩舞振興会長賞、日本財団賞、金メダル

二位 日本吟剣詩舞振興会長賞、日本財団賞、銀メダル

三位 日本吟剣詩舞振興会長賞、日本財団賞、銅メダル

入賞（四位～二十五位） 日本吟剣詩舞振興会長吟詠奨励賞

令和五年度全国吟詠合吟コンクール
指定吟題

〈絶句編〉

- ① 春日山懐古
大槻 磐溪
- ② 壇の浦を過ぐ
村上 仏山
- ③ 城山
西 道僊
- ④ 獄中の作
高杉 晋作
- ⑤ 春日偶成
夏目 漱石
- ⑥ 涼州詞
王 翰
- ⑦ 芙蓉楼にて辛漸を送る
王 昌齡
- ⑧ 峨眉山月の歌
李 白
- ⑨ 烏江亭に題す
杜 牧
- ⑩ 事に感ず
于 漬

〈続絶句編〉

- ⑪ 春の花を尋ぬ
菅 三品
- ⑫ 偶成
大鳥 圭介
- ⑬ 花を惜しむ
福沢 諭吉
- ⑭ 城東の荘に宴す
崔 敏童
- ⑮ 山中問答
李 白

令和六年度
全国吟詠合吟コンクール
指定吟題

絶句編

- 1 後夜仏法僧鳥を聞く 空 海
- 2 九月十日 菅原 道真
- 3 楠公子に訣るるの因に題す 頼 山陽
- 4 太田道灌襄を借るの因に題す 作者不詳
- 5 出郷の作 佐野竹之助
- 6 元二の安西に使用するを送る 王 維
- 7 早に白帝城を発す 李 白
- 8 楓橋夜泊 張 繼
- 9 菊花 白居易
- 10 秦淮に泊す 杜 牧
- 11 海を望む 藤井 竹外
- 12 獄中の作 武市半平太
- 13 金剛山 山岡 鉄舟
- 14 春を探る 戴 益
- 15 問梅閣 高 啓

令和五年度全国吟詠合吟コンクール
出場団体

〈吟題〉

- 1 春日山懐古
大槻 磐溪

〈作者〉

〈出場団体名〉

〈区分〉

〈出身〉

春日山頭晚霞に鎖さる
春日山頭晚霞に鎖さる
驂騑嘶き罷んで鳴鴉有り
隣れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

2 春日山懐古

大槻 磐溪

春日山頭晚霞に鎖さる
驂騑嘶き罷んで鳴鴉有り
隣れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

日本國風流詩吟舞会

神奈川県地区本部

男子

神奈川県

掛川 國淳
宮下 國良
渡辺 國茂

佐藤 國乘
徳毛 國誠
上村 國章

岸本 國祥
木口 國仁
桜井 國秀

片桐 國佑
平口 國司

中澤 國鳳
井澤 國清

3 事に感ず

于 漬

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

岳精流日本吟院多摩岳精会

男子

東京

漆原 諄風
大根田碧風
渡辺 悦泉

家吉 精雄
渡邊 泰風

村田 精流
落井 清風

佐藤 龍英
高光 文山

岩岡 龍廣
瀧口 耕山

志村 龍廣
永島 建泉

4

峨眉山月の歌

峨眉山月半輪の秋
影は平羌江水に入つて流る
夜清溪を発して三峽に向う
君を思えども見えず渝州に下る

李

白

吟亮流和花菜会

女子

東京

八塚
吟晞
古谷千風

大森
吟祥
依田美風

平野
吟蒼
齋藤吟陽

5

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于

漬

詩吟冽風流

男子 東京

和田
尤堂
矢内 榴堂
吟豊

粕谷
鳳堂
齋藤 朴堂

渡辺
聖堂
絹山 功堂

近藤
麓堂
小須田壽堂

6

山中問答

余に問う何の意あつてか碧山に棲むと
笑つて答えず心自ら閑なり
桃花流水杳然として去る
別に天地の人間に非ざる有り

李

白

日本國風流詩吟吟舞会

女子 千葉

竹内
國玲
田島 國聆

清水
國芳
小野 國咲

杉田
國陽
菊地 國晶

7

城山

孤軍奮鬪困を破つて還る
一百の里程墨壁の間
吾が剣は既に摧れ吾が馬は斃る
秋風骨を埋む故郷の山

西

道僊

吟道精修流

男子 神奈川

利根川
志水
堀内 俊風
建永

松本
志昇
上田 幸泉

森川
志峰
勝沼 範泉

保坂
志夢
守屋 功泉

8

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驂騑嘶き罷んで鳴鴉有り
隣れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻

磐溪

心彰流愛吟詩道会 女子 群馬

柳橋
心道
高橋 心瓔
碓氷 心雅

岩崎
心玲
高木 心富

金子
心佳
近藤 心順

坂本
心慶
福田 心麗

9

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驂騑嘶き罷んで鳴鴉有り
隣れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻

磐溪

日本修道流吟詠会 女子 千葉

岡崎
修景
布留川 修翠

水野
修信
服部 修節

高野
修光
金杉 修洸

若松
修香
藤田 修榮

10

烏江亭に題す

勝敗は兵家も事期せず
羞を包み恥を忍ぶは是れ男児
江東の子弟才俊多し
卷土重来未だ知るべからず

杜

牧

公益社団法人関西詩文化協会公認東京苧孝会

男子 東京

本野
芦伯
城田 芦宗

澤野
芦青
中司 芦岡

安藤
芦粹
矢崎 一洋

11

峨眉山月の歌

峨眉山月半輪の秋
影は平羌江水に入つて流る
夜清溪を発して三峽に向う
君を思えども見えず渝州に下る

李

白

吟詠静風流Aチーム 女子 東京

吉富
祥幸
清水 祥啓

御園
祥寛
佐藤 祥良

村上
祥喜
坂本 祥佐

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驩駟嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻 磐溪

心彰流愛吟詩道会 男子

堀川 心匠
萩原 心剛
都木 真成
赤松 心良
見城 心隼
梨木 秀成
新井 心整
佐藤 心憲
福島 勝成

高橋 心毅

久保寺心淳

奥村 心敏

峨眉山月の歌

峨眉山月半輪の秋
影は平羌江水に入つて流る
夜清溪を発して三峽に向う
君を思えども見えず渝州に下る

李 白

東京都吟剣詩舞道総連盟 女子

加藤 岳紅
原田 理宝
田中 萩由
阿部 櫻岳
稲吉 宏陽
青井 紀風
神 裳風
原 京岳
石坂 紫麗

伊藤 薫堂

藤田 霜晃

上村 瑛鳳

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于 漬

契秀流吟詠会 女子 神奈川

小倉 契秀
梅田 契璋
種本 尊心
麻生 契春
赤瀬 契映
増田 秀裕
佐藤 契渚
松田 心雅
毛呂 秀明

広瀬 契南

後藤 契弘

宇津木契悦

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驩駟嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻 磐溪

朝翠流朝翠会本部 女子 神奈川

中貫 楊鵬
後藤 燦鵬
林 恵鵬
高野 愈鵬
武田 佑鵬
遠藤 和鵬
小菌 秀鵬
下重 旬鵬
北畠 潤鵬

新井 栄鵬

佐藤 慧鵬

中野 瑤鵬

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于 漬

茨城県吟剣詩舞道総連盟 Aチーム 男子 茨城

中澤 吟湧
横川 萃嵐
高塩 吟篁
嶋村 吟竣
津梅 吟精
鈴木 吟光
平岡 昭虎
阿久津吟冽
筒井 吟璋

小林 吟暉

鈴木 龍正

木村 萃雪

芙蓉楼にて辛漸を送る

寒雨江に連つて夜具に入る
平明客を送れば楚山孤なり
洛陽の親友如し相問わば
一片の氷心玉壺に在り

王 昌齡

公益社団法人日本吟道学院 男子 東京

亀本 龍水
木原 達祥
石井 泰水
甲斐 昭龍
小平 勝祥
小島 仁洲
草野 信龍
野村 春祥
小林 茂吟

山岡 寛龍

横山 弘龍

市川 寛祥

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驩駟嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻 磐溪

詩吟墨水流水水会 男子 東京

伊澤 晨峰
川津 清峰
山中 嵩峰
石田 健月
佐藤 鴻峰
矢後 秀峰
小川 歴峰
諏訪 明峰

熊崎 明月

楠 玄峰

斉藤 利月

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驩駟嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻 磐溪

朝翠流朝翠会本部 男子 神奈川

館岡 奥鵬
今井 健鵬
岡田 爽鵬
鎌倉 轟鵬
横溝 泉鵬
神原 健鵬
福田 劔鵬
和田 玖鵬
辻井 魁鵬

目黒 恭鵬

市倉 詩鵬

三浦 功鵬

花を惜しむ

半生の行路苦辛の身
幾度か春を迎え還春を送る
節物は忽々として留むれども止まず
花を惜しむ人は是れ霜を戴くの人

福沢諭吉

清吟堂吟友会島根 女子 島根

- 笠岡 麗李 佛原 多恵 勝部 麗迦
- 加谷 麗璃 加谷 公代 藤原 麗里
- 園山 麗香 廣江千穂子 周藤由紀子

熊野 千枝 麗野

伊藤 美雪 麗叶

古川由美子 伊藤 麗碧

烏江亭に題す

勝敗は兵家も事期せず
羞を包み恥を忍ぶは是れ男児
江東の子弟才俊多し
卷土重来未だ知るべからず

杜牧

契秀流吟詠会 男子 神奈川

- 七ツ矢契旭 三枝 契憲 新倉 契菁
- 大槻 契巖 小林 契早 平野 契保
- 鈴木 秀鳳 松岡 秀弘 古川 隆秀

安部 契亘 笹井 心吟

安藤 契来 坂井 仁心

相葉 契元 吉田 幸心

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于漬

茨城県吟剣詩舞道総連盟 女子 茨城

- 井川 邑帥 林 則陽 石塚 誦里
- 岡本光永子 佐藤 吟慧 久保田吟黄
- 星名 瑞峰 加藤 倅峰 関 英子

池田 蕙嶺 染谷光妻子

土田 奉嶺 若宮光娟子

桐原 誦邦 桜井光慶子

涼州詞

葡萄酒の美酒夜光の杯
飲まんと欲すれば琵琶馬上に催す
酔うて沙場に臥す君笑うこと莫かれ
古来征战幾人か回る

王翰

吟道精修流 女子 神奈川

- 加瀬 志勝 小池 志柳 服部 志美
- 宮坂 優山 玉城 彩山 遠藤 知山
- 大井 生山 林 佳泉 村林万里子

板山 志櫻 蒲谷 芳山

山長 智風 松田 雅山

清水 和風 横山 博山

峨眉山月の歌

峨眉山月半輪の秋
影は平羌江水に入つて流る
夜清溪を発して三峽に向う
君を思えども見えず渝州に下る

李白

吟詠静風流 男子 東京

- 阿部 祥博 大前 祥潔 鈴木 祥孝
- 桑名 祥規 窪田 祥浩 窪田 祥幹
- 永瀬 鶴俊 北島 鶴光 平井 鳳巖

室矢 祥芳 鈴木 祥敬

飯田 祥麟 三橋 祥登

桑名 祥明 木村 鶴峰

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于漬

岳精流日本吟院六郷岳精会 女子 東京

- 丹羽 龍風 前嶋 龍彩 上杉 龍景
- 佐藤 美山 井原 末泉 小林 朱泉
- 成田 幸泉 葛西 咲水 松野 典子

三浦 龍江 名倉 輝泉

都築 加山 北野 真泉

寺澤 邦山 井上 洋泉

涼州詞

葡萄酒の美酒夜光の杯
飲まんと欲すれば琵琶馬上に催す
酔うて沙場に臥す君笑うこと莫かれ
古来征战幾人か回る

王翰

吟亮流千葉吟風会 男子 千葉

- 三橋 吟健 中村 吟孝 細川 吟明
- 小林 吟秀 中嶋 瑞風 伊藤 賢風
- 榊原 松風 宮本 裕 戸張 晴弘

川坂 吟奥 田久保勝風

安永 吟敬 加藤 靖風

岸本 吟仙 山本 芳風

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驩嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻磐溪

東京都吟剣詩舞道総連盟 男子 東京

- 福原 錦章 小池 洵風 近藤 詩峰
- 三浦 曉泉 本田 白郷 小倉 喜岳
- 白田 芦勘 松村 伯洲 渡辺 岳雄

湯口 岳政 長谷川蘭聖

土方 吳鶴 佐藤 洲吟

杉本 嶽駿 加藤 岳悠

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驂騮嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠せざりしを

大槻 磐溪

埼玉県吟詩舞道総連盟 女子 埼玉
星野 星滄 石田 鳳章 石井 錦文
松村 東敬 北村 東笛 大石 東怜
中矢 翠星 保泉 星苑 森下 昌麗

川田 星紅

小湊 壮雲

小原 錦悦
齋藤 貴英

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驂騮嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠せざりしを

大槻 磐溪

吟道絃仙流白鷗会 女子 神奈川
小川 誓詠 寺田 蟹蟹 富田 誓風
小山田仙豊 松本 和仙 高岡 胡仙
須藤 禪仙 森 富仙 前屋敷樹仙

豊田 誓裳
浦田 美仙

夏梅 誓香
内田 凜仙

井山 誓翠
菅原 雅仙

涼州詞

葡萄酒美酒夜光の杯
飲まんと欲すれば琵琶馬上に催す
酔うて沙場に臥す君笑うこと莫かれ
古来征戦幾人か回る

王 翰

吟道鴻成流 女子 東京
野沢鴻翠子 佐藤鴻希子 平形鴻康子
鈴木鴻珠子 佐藤鴻彰子 進藤鴻宝子
野田鴻桃子 関屋鴻清子 西田鴻春子

両角鴻晶子
遠藤鴻芳子

板橋鴻翔子
金井塚鴻風子

中俣鴻中子
森田鴻礼子

涼州詞

葡萄酒美酒夜光の杯
飲まんと欲すれば琵琶馬上に催す
酔うて沙場に臥す君笑うこと莫かれ
古来征戦幾人か回る

王 翰

吟亮流千葉吟風会 女子 千葉
竹口 吟秋 橋本 吟佳 吉野 吟洋
吉田 江風 久米 花風 立本 君風
佐藤ちづる 疋田 定江 安田ひとみ

小林 吟心
伊藤 映風

須田 吟思
中谷 礼風

山田 吟寿
佐藤 縫風

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于 漬

岳精流日本吟院多摩岳精会 女子 東京
大根田彩山 古城 精幸 大根田精貞
家吉 美風 市川 恵風 加藤 敬山
柴崎 恵泉 小野寺知泉 高橋 好

高村 龍静
押尾 和山

住吉 龍紅
井上 廣山

幕田 龍純
落井 由泉

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
驂騮嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠せざりしを

大槻 磐溪

千葉県吟詩舞道総連盟 女子 千葉
鈴木 鶯風 鷗田 桜風 阿久津臥風
山中 江風 龍 華風 中村 信風
衣幡 俊峰 馬場 珠堂 黒田 鶯風

山市 頌風
佐治 玲風

吉川 舜風
佐藤 積玄

石村 妙風
支倉 積花

春日偶成

道う莫かれ風塵に老ゆと
軒に当れば野趣新なり
竹深うして鶯乱れ囀り
清昼臥して春を聴く

夏目 漱石

公益社団法人日本吟道学院公認群馬吟道会 女子 群馬
戸丸 龍花 長谷川龍優 吉川 龍桜 片倉 龍順
高橋 龍幸 長井 千龍 石村 月祥 竹村 恵祥
仲田 和水 鈴木 歆水 眞庭 好洲

近藤 龍荷
大森 和城

石坂 龍翠
藤井 泉城

芙蓉楼にて辛漸を送る

寒雨江に連つて夜呉に入る
平明客を送れば楚山孤なり
洛陽の親友如し相問わば
一片の氷心玉壺に在り

王 昌齡

煌成流煌彩会 女子 東京
林 煌月 三好 煌晶 西條 煌花
木村 風成 猿渡 紫成 松川 華成
鳥谷 佳穂 今村 希沙

古河 煌良
丸山 珠成

小椋 秀成
田丸 裕成

スワン桜花成
遠坂 妃那

峨眉山月の歌

峨眉山月半輪の秋
影は平羌江水に入つて流る
夜清溪を発して三峽に向う
君を思えども見えず渝州に下る

李 白

詩吟伯峯流伯峯会 女子 東京

山田 伯峯 山田 伯峯 神戶 伯珠
米岡 蒼心 金澤 蒼富 宮下 香淑
神田 香泉 松村 香楓 松本 香溪

河合 伯燈
上地 香凜

山内 峯美
佐藤 香公

永井 蒼玖
佐藤 香玥

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
春日山頭晚霞に鎖さる
驂騮嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻 磐溪

詩吟墨水流域水会 女子 東京

石田 胡峰 市川 和峰 上野 美峰
高橋 鶴峰 阿久澤虹峰 中村 舟峰
吉川 蓮峰 横山 燕峰

金澤 胡峰
平塚 紀峰

坂本 佳月
森田 成峰

関口 紀峰
山中 寂峰

涼州詞

葡萄酒の美酒夜光の杯
飲まんと欲すれば琵琶馬上に催す
酔うて沙場に臥す君笑うこと莫かれ
古来征戦幾人か回る

玉 翰

香川県吟剣詩舞道総連盟 男子 香川

大島 需泉 浅井 延風 大西 良風
佐々木政風 定國 伯風 横山 公風
村上 匠風 横田 香風

尾松 隆風
藤本 樹風

草薙 賢風
堀合 健風

小竹 敷風
宮本 舟風

春日山懐古

春日山頭晚霞に鎖さる
春日山頭晚霞に鎖さる
驂騮嘶き罷んで鳴鴉有り
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大槻 磐溪

日本修道流吟詠会 男子 千葉

太田 修道 境 修正 岡田 修繁
小倉 修祥 日野 修進 鈴木 修廣
加藤 誼山 中田 治山 大貫 正山

手塚 修樹
古舘 修明

武井 修久
野島 修功

江波戸修弘
太田 修紳

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于 漬

詩吟冽風流 女子 東京

和田 旭苑 木村 凜苑 中嶋 杏苑
井原 瑠苑 中村 智苑 山下 芝苑
長谷川青苑 神 喜苑 鶴岡 城苑

福井 黎苑
粕谷 藍苑

木野内星苑
野村 富苑

高橋 蓬苑
石井 李苑

涼州詞

葡萄酒の美酒夜光の杯
飲まんと欲すれば琵琶馬上に催す
酔うて沙場に臥す君笑うこと莫かれ
古来征戦幾人か回る

玉 翰

清吟堂吟友会島根 男子 島根

児玉 春風 湯浅 素直 福島 巨
小林 涼風 伊藤 徳風 金山 孝風
土江 博昭 安部 行風 服部 倫風

高橋 航風
吉岡 馨風

樋野 朝風
松浦 良紀

高橋 充風
野津 享平

春日偶成

道う莫かれ風塵に老ゆと
軒に当れば野趣新たり
竹深うして鶯乱れ囀り
清昼臥して春を聴く

夏目 漱石

吟詠静風流Bチーム 女子 東京

清水 風友 斎藤 風球 河西風慶律
鳴瀬 栄凌 小山 慶明 相本 栄倅
岡崎 映志 平林こずえ

佐藤風純咏
池崎風映月

島谷風栄佑
金子風映甲

川窪 秀節
小西風映華

城山

孤軍奮闘固を破つて還る
一百の里程墨壁の間
吾が剣は既に摧れ吾が馬は斃る
秋風骨を埋む故郷の山

西 道僊

千葉県吟剣詩舞道総連盟 男子 千葉

豊 溪風 萩原 勝風 飯島 滉風
永野 真風 佐藤 健風 萩原 康風
池田 積朝 進藤 諒峰 小林 千容

加来 岳風
新居 佳風

渡部 浩風
石澤 風風

本橋 博風
福原 積旺

事に感ず

花開けば蝶枝に満つ
花謝すれば蝶還稀なり
惟旧巢の燕有り
主人貧しきも亦帰る

于ら 漬え

- 茨城県吟剣詩舞道総連盟 B チーム 男子 茨城
- 土田 伸水 青葉 鷹嶺 小山 昂嶺 狩谷 吟探
- 新井 光朋 中村 綉嶺 平間 光風 松林 仁風
- 横田 清綯 広瀬 清仙 杉林 光樹

城山

孤軍奮闘困を破つて還る
一百の里程墨壁の間
吾が剣は既に摧れ吾が馬は斃る
秋風骨を埋む故郷の山

西に 道僊

- 天洲流吟詠会 男子 東京
- 星野 勇洲 佐藤 遥洲 五明 穰洲 筒井 岳洲
- 井上 壮洲 追立 隆洲 川崎 要洲 大内 寛洲
- 松本 晋洲 橋本 甫洲 佐藤 欽也

全国合吟コンクール上位入賞団体

昭和四十五年(三回)	優勝 錦城会女子部 二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部 三位 浦和吟詠会女子部	昭和四十六年(四回)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会女子部 二位 岳風流岳精会男子部 三位 詩吟朗詠錦城会女子部	昭和四十七年(五回)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会男子部 二位 神州流吟道会男子部 三位 岳心流群馬愛吟国風会女子部	昭和四十八年(六回)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会男子部 二位 詩吟朗詠錦城会男子部 三位 岳心流群馬愛吟国風会女子部	昭和四十九年(七回)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会女子部 二位 岳心流群馬愛吟国風会男子部 三位 詩吟朗詠錦城会女子部	昭和五十年(八回)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会男子部 二位 神州流吟道会女子部 三位 関心流日本興道吟詩会女子部	昭和五十一年(九回)	優勝 詩吟朗詠錦城会女子部 二位 岳風流岳精会男子部 三位 朝翠流照照吟詠会男子部	昭和五十一年(十回)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会男子部 二位 岳精流日本吟院女子部 三位 岳心流群馬愛吟国風会女子部	昭和五十二年(十一回)	優勝 岳精流日本吟院男子部 二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部 三位 日本詩吟学院岳星会女子部	昭和五十四年(十二回)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 岳精流日本吟院女子部	昭和五十五年(十三回)	優勝 岳精流日本吟院女子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 岳心流群馬愛吟国風会女子部	昭和五十六年(十四回)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 春洋流東洋吟詠会男子部	昭和五十七年(十五回)	優勝 淡志光靈流大分詩道会女子部 二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部 三位 神州流吟道会女子部	昭和五十八年(十六回)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会男子部 二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部 三位 岳心流群馬愛吟国風会男子部	昭和五十九年(十七回)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 岳心流群馬愛吟国風会男子部	昭和六十年(十八回)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会女子部 二位 紫虹流紫虹会女子部 三位 紫虹流紫虹会女子部	昭和六十一年(十九回)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会男子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 紫虹流紫虹会女子部	昭和六十二年(二十回)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 豊晃吟道会女子部	昭和六十二年(二十一回)	優勝 岳心流群馬愛吟詩道会女子部 二位 紫虹流紫虹会女子部 三位 雪山流日本吟詠学院女子部	昭和六十二年(二十二回)	優勝 心影流愛吟詩道会男子部 二位 紫虹流紫虹会女子部 三位 紫虹流紫虹会女子部	平成元年度(一)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会男子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 紫虹流紫虹会女子部	平成二年度(二)	優勝 心影流愛吟詩道会男子部 二位 三島吟吟会女子部 三位 吟亮流和花菜会女子部	平成三年度(三)	優勝 契秀流吟詠会女子部 二位 紫虹流紫虹会女子部 三位 吟道哲山流興風吟詠会女子部	平成四年度(四)	優勝 契秀流吟詠会女子部 二位 紫虹流紫虹会女子部 三位 吟道哲山流興風吟詠会女子部	平成五年度(五)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部 二位 岳精流日本吟院女子部 三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部	平成六年度(六)	優勝 緑葉流吟詠会女子部 二位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部 三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部	平成七年度(七)	優勝 岳心流群馬愛吟国風会女子部 二位 岳心流上毛岳心会女子部 三位 春洋流東洋吟詠会女子部	平成七年度(八)	優勝 岳精流日本吟院男子部 二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部 三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部	平成八年度(九)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部 二位 岳精流日本吟院女子部 三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部	平成九年度(十)	優勝 岳精流日本吟院女子部 二位 岳精流日本吟院女子部 三位 岳精流日本吟院女子部	平成十年度(十一)	優勝 岳精流日本吟院本部女子部 二位 雪山流日本吟詠学院女子部 三位 心影流愛吟詩道会男子部	平成十一年度(十二)	優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部 二位 紫洲流日本吟吟会兵庫本部女子部 三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部	平成十二年度(十三)	優勝 心影流愛吟詩道会男子部 二位 吟詠詩道會女子部 三位 吟道實室流近畿本部女子部	平成十三年度(十四)	優勝 岳精流日本吟院三河岳精会女子部 二位 契秀流吟詠会女子部 三位 岡山県吟剣詩舞道總連盟女子部	平成十四年度(十五)	優勝 契秀流吟詠会女子部 二位 泰洲流吟詠会女子部 三位 岡山県吟剣詩舞道總連盟女子部	平成十五年度(十六)	優勝 朝翠流朝翠会本部女子部 二位 岡山県吟剣詩舞道總連盟女子部 三位 詩吟瀧流女子部	平成十六年度(十七)	優勝 吟道實室流近畿本部女子部 二位 大阪府吟剣詩舞道總連盟女子部 三位 泰洲流吟詠会女子部	平成十七年度(十八)	優勝 吟道實室流近畿本部女子部 二位 大阪府吟剣詩舞道總連盟女子部 三位 泰洲流吟詠会女子部	平成十八年度(十九)	優勝 岳精流日本吟院本部女子部 二位 吟道實室流近畿本部女子部 三位 吟道實室流近畿本部女子部	平成十九年度(二十)	優勝 岳精流日本吟院本部女子部 二位 吟道實室流近畿本部女子部 三位 心影流愛吟詩道会男子部	平成二十年度(二十一)	優勝 吟道實室流近畿本部女子部 二位 吟道實室流近畿本部女子部 三位 大分県吟剣詩舞道總連盟女子部	平成二十一年度(二十二)	優勝 吟道實室流近畿本部女子部 二位 天辰神容流女子部 三位 心影流愛吟詩道会女子部	平成二十二年(二十三)	優勝 吟道實室流近畿本部女子部 二位 天辰神容流女子部 三位 心影流愛吟詩道会女子部	令和元年度(五十二)	優勝 福岡県吟剣詩舞道總連盟女子部 二位 福岡県吟剣詩舞道總連盟女子部 三位 福岡県吟剣詩舞道總連盟女子部	令和四年度(五十二)	優勝 岳精流日本吟院本部女子部 二位 東都部吟剣詩舞道總連盟男子部 三位 日本吟声流梅チーム女子部
------------	--	------------	---	------------	--	------------	---	------------	---	-----------	--	------------	---	------------	---	-------------	--	-------------	---	-------------	---	-------------	--	-------------	--	-------------	--	-------------	--	------------	--	-------------	--	-------------	---	--------------	---	--------------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	---	----------	--	----------	--	----------	---	----------	---	----------	---	-----------	--	------------	--	------------	--	------------	---	------------	---	------------	---	------------	--	------------	--	------------	---	------------	--	-------------	---	--------------	--	-------------	--	------------	---	------------	---

幼少年代表・開催地代表 推薦吟剣詩舞

一三時一五分

〈幼少年代表 吟剣詩舞〉

〈東日本地区連絡協議会代表〉

富士山

石川丈山

吟
森内桜月子

藤原 桜山

仙客来り遊ぶ雲外の巖
神竜棲み老ゆ洞中の淵

舞
風原 航輝
岩永亜里沙

小野寺勇太
江上 凜

秋山 幸大
齊藤 色花

萩原明日瑠

鶴飼 聖奈

雪は紈素の如く煙は柄の如し
白扇倒しまに懸る東海の天

偶成

朱

熹

吟
阿部 尊生

阿部 楓生

舞
田口 紀耕

五月女 昂

五月女 空

上野 蒼空

櫃山 紀大

少年老い易く学成り難し
一寸の光陰軽んずべからず
未だ覚めず池塘春草の夢
階前の梧葉已に秋声

白虎隊

佐原盛純

吟
辻 和樹

辻 実樹

舞
小野 優月

小野 陽葵

小野 咲燈

南鶴ヶ城を望めば砲煙が上がる
痛哭涙を飲んで且つ彷徨す
宗社亡びぬ我が事畢わる
十有九人屠腹して僵る

〈開催地代表 吟剣詩舞〉

〈千葉県吟剣詩舞道総連盟〉

赤壁

杜

牧

折戟沙に沈んで鉄未だ銷せず
自ら磨洗をもつて前朝を認む
東風周郎の与に便ならずんば
銅雀春深うして二喬を鎖さん

吟
太田 修道
小倉 修祥
野島 修功
甕 溪風
本橋 博風
石澤 風風
中村 吟孝
小林 吟秀
山本 芳風
伊藤 顕堂
竹内 正城

境 修正
江波戸 修弘
大田 修紳
萩原 勝風
永野 真風
福原 積旺
細川 吟明
中嶋 瑞風
榊原 松風
橋本 行堂
蒔田 正聖

岡田 修繁
日野 修進
加藤 諠山
飯島 滉風
佐藤 健風
池田 積朝
川坂 吟奥
伊藤 賢風
宮本 裕
大野 廣堂
松下 正愛

手塚 修樹
鈴木 修廣
中田 治山
加来 岳風
萩原 康風
進藤 諒峰
安永 吟敬
田久保 勝風
戸張 晴弘
矢内 吟豊
竹内 峻親

武井 修久
古館 修明
大貫 正山
渡部 浩風
新居 佳風
三橋 吟健
岸本 吟仙
加藤 靖風
石原 仁堂
八木 好親

幼少年代表・開催地代表
推薦吟剣詩舞

四海波

四海波恬かにして瑞色披く
相生の松は茂りて枝を鳴らさず
高砂の一曲喜び極まり無し
契りは固し三々九度の扨

本宮三香

吟 宇井修光
篠崎錦宵
田村鯉紀佳
石井桃苑
瓜生國石
鷺見國仁
白井瑤堂
横山燕峰
鈴木岳美

九段の桜

至誠烈々乾坤を貫く
忠勇の誉は高し靖国の門
花は九段に満ちて春海の若し
香雲深き処英魂を祭る

本宮三香

吟 金子君峰
古内國博
小林千容
太田修道
川原昇晔
小坂蕨溪風
塚本静香
石原仁堂
藤崎岳良

早に白帝城を発す

朝に辞す白帝彩雲の間
千里の江陵一日にして還る
兩岸の猿声啼いて住まざるに
輕舟已に過ぐ万重の山

李 白

吟 石井桃苑
鶴岡城苑
石村妙風
龍華風
衣幡俊峰
相川國瑠
加瀬國瑠
高橋鶴峰
若松修香
山崎修幸
合田郁水
小林吟心
立本君風
疋田定江
迫舞 翔豪
橋本晃苑
高木佑苑
佐治玲風
山中江風
山内珠堂
馬場國玲
竹内國令
鶴岡鼓峰
石田修光
高野修光
服部修節
石橋祐山
須田吟思
伊藤映風
滝口翔玲
中嶋杏苑
石川桂苑
山市頌風
鈴木鶯風
黒田鶯風
清水鶯風
内海操
野島修智
兵藤修博
金杉修洸
竹口吟秋
山田吟秋
中谷礼風
山下櫻苑
山田積風
吉川積風
佐藤積風
鷺見積風
杉田國仁
横山國陽
横山國陽
岡崎修景
小倉修景
藤田修景
橋本修景
吉田吟佳
佐藤吟佳
縫風
石井李苑
中村信風
阿久津臥風
支倉積花
瓜生國石
高木國蕙
森田成峰
水野修信
布留川修翠
前後修順
吉野吟洋
久米花風
佐藤ちづる
大友梢華

全国コンクール優勝者の披露

一三時五〇分

- 令和四年度全国剣詩舞コンクール決勝大会（令和四年九月十八日、東京・赤羽会館講堂で実施）
- 令和四年度全国吟詠コンクール決勝大会（令和四年九月十九日、東京・日本教育会館一ツ橋ホールで実施）
- 令和五年度全国剣詩舞コンクール決勝大会（令和五年九月二四日、大阪・門真市民文化会館ルミエールホールで実施）
- 令和五年度全国吟詠コンクール決勝大会（令和五年九月十八日、東京・日本教育会館一ツ橋ホールで実施）

〈令和四年度全国吟詠コンクール〉

少年の部

吟詠 鈴木 愛琉（東日本地区代表）

江南の春

杜と

牧

千里鶯啼いて緑紅に映ず
水村山郭酒旗の風
南朝四百八十寺
多少の楼台煙雨の中

一般二部

吟詠 高橋 恵子（東北地区代表）

望湖楼醉書

蘇

軾

黒雲墨を翻して未だ山を遮らず
白雨珠を跳らして乱れて船に入る
地を巻き風来つて忽ち吹き散ず
望湖楼下水天の如し

〈令和四年度全国剣詩舞コンクール〉

幼年の部

詩舞 塙 寛介（中部地区代表）

和歌・ふるさとの

石川 啄木

ふるさとの 山に向かひて いふことなし
ふるさとの 山はありがたきかな
ふるさとの 山に向かひて いふことなし
ふるさとの 山はありがたきかな

一般二部

剣舞 鈴木 一人（東日本地区代表）

中庸

元田 東野

勇力の男児は勇力に斃れ
文明の才子は文明に酔う
君に勧む須らく中庸を扱ひ去くべし
天下の万機は一誠に帰す

一般三部

剣舞 鈴木 文枝（中部地区代表）

塚下の歌

項

籍

力山を抜き氣世を蓋う
時に利あらず 離逝かす
離の逝かざる 奈何すべき
虞や虞や若を奈何せん

一般二部

詩舞 渡邊 祐子（中部地区代表）

漢江

杜と

牧

溶々漾々として白鷗飛ぶ
緑浄く春深うして好し衣を染むるに
南去北来人自ら老ゆ
夕陽長えに送る釣船の帰るを

全国コンクール優勝者の披露

青年の部 | 剣舞 |

五月女 智仁 (東日本地区代表)

坂下の歌

項 籍

カ山を抜き氣世を蓋う
時に利あらず離逝かず
離の逝かざる奈何すべき
虞や虞や若を奈何せん

青年の部 | 詩舞 |

詩舞 長澤 美元 (中部地区代表)

梅花絶句

土屋 竹雨

石は皆虎の如く樹は皆龍
花気千溪雪一峰
応に道人の此の間に住する有るなるべし
白雲幽かに送る上方の鐘

〈令和五年度全国吟詠コンクール〉

幼年の部

吟詠 綿谷 奏音 (中部地区代表)

弘道館に梅花を賞す

徳川 景山

弘道館中千樹の梅
清香馥郁十分に開く
好文豈威武無しと謂わんや
雪裡春を占む天下の魁

一般三部

吟詠 草薙 賢三 (四国地区代表)

絶命の詞

黒沢 忠三郎

狂と呼び賊と呼ぶは他の評するに任す
幾歳の妖雲一旦晴る
正に是れ桜花の好時節
桜田門外血は桜の如し

一般二部

吟詠 伊藤 利博 (中部地区代表)

春夜洛城に笛を聞く

李 白

誰が家の玉笛か暗に声を飛ばす
散じて春風に入つて洛城に満つ
此の夜曲中折柳を聞く
何人か故園の情を起こさざらん

一般一部

吟詠 荒崎 春奈 (東日本地区代表)

絶句 (兩箇の黄鸝)

杜 甫

兩箇の黄鸝翠柳に鳴き
一行の白鷺青天に上る
窓に含む西嶺千秋の雪
門に泊す東吳万里の船

青年の部

吟詠 東 瑞 (近畿地区代表)

舟中子規を聞く

城野 静軒

八幡山崎春暮れんと欲す
杜鵑血に啼いて落花流る
一声は月に在り一声は水
声裡の離人半夜の舟

〈令和五年度全国剣詩舞コンクール〉

幼年の部 | 剣舞 |

（剣舞） 齊藤 柚璃（近畿地区代表）

出郷の作

決然国を去つて天涯に向う
生別又兼ぬ死別の時
弟妹は知らず阿兄の志
懸懃袖を牽いて帰期を問う

佐野 竹之助

少年の部 | 剣舞 |

（剣舞） 永田 菜桜（中部地区代表）

英雄義経

鉄拐の峰屋島の浜
義経の武勇鬼か神か
平家の軍勢忽ち殲滅
曾つて是れ雪中乳を覓めしの人

松口 月城

幼年の部 | 詩舞 |

（詩舞） 鈴木 嗣人（中部地区代表）

九段の桜

至誠烈々乾坤を貫く
忠勇の誉は高し靖国の門
花は九段に満ちて春海の若し
香雲深き処英魂を祭る

本宮 三香

少年の部 | 詩舞 |

（詩舞） 建部 有咲（中部地区代表）

九段の桜

至誠烈々乾坤を貫く
忠勇の誉は高し靖国の門
花は九段に満ちて春海の若し
香雲深き処英魂を祭る

本宮 三香

一般三部 | 剣舞 |

（剣舞） 竹内 久恵（中部地区代表）

絶命の詞

狂と呼び賊と呼ぶは他の評するに任す
幾歳の妖雲一旦晴る
正に是れ桜花の好時節
桜田門外血は桜の如し

黒沢 忠三郎

一般二部 | 剣舞 |

（剣舞） 建部 司（中部地区代表）

馬上偶成

険に臨み危きに臨んで豈衆を待まんや
单身孤馬乱丸の中
沙辺甲を枕にす腥風の夕
幽夢悠悠海東に到る

高杉 晋作

一般三部 | 詩舞 |

（詩舞） 鈴木 文枝（中部地区代表）

辞世

吾今国の為に死す
死して君親に負かず
悠々たり天地の事
鑑照明神に在り

吉田 松陰

一般二部 | 詩舞 |

（詩舞） 鈴木 一人（東日本地区代表）

辞世

吾今国の為に死す
死して君親に負かず
悠々たり天地の事
鑑照明神に在り

吉田 松陰

青年の部 | 剣舞 |

剣舞 上岡 隆生 (中部地区代表)

塞下の曲 其の一

張 仲素

三たび漁陽を成つて再び遼を度る
驛弓は臂に在り剣は腰に横とう
匈奴は名姓を知らんと欲するに似たり
陰山に傍うて更に鵬を射るを休めよ

一般一部 | 剣舞 |

剣舞 坪田 里美 (中部地区代表)

絶命の詞

黒沢 忠三郎

狂と呼び賊と呼ぶは他の評するに任す
幾歳の妖雲一旦晴る
正に是れ桜花の好時節
桜田門外血は桜の如し

一般一部 | 詩舞 |

詩舞 奥谷 晶子 (中部地区代表)

芳野

齋藤 拙堂

静女長えに留む千歳の名
遺芳又た見る満山の桜
飛花彷彿たり羽衣の舞
更に想う源郎の雪を踏んで行きしを

令和四年度
吟剣詩舞道吟詠集より
和歌・ふるさとこの

令和五年度
吟剣詩舞道吟詠集より

垓下の歌 (吟) 辻 栄水
中庸 (吟) 松葉 水章
漢江 (吟) 向山 侑珠
梅花絶句 (吟) 植田 飭菖
(吟) 伏尾 琵琶

出郷の作 (吟) 中野 祥理
九段の桜 (吟) 蒔田 淳芽心
英雄義経 (吟) 岩永 優岳
絶命の詞 (吟) 小池 貴心
辞世 (吟) 前田 卓壺
馬上偶成 (吟) 巽 吟城
塞下の曲 其の一 (吟) 堤 龍美
芳野 (吟) 菊野 桜山

全国吟剣詩舞道大会特別企画吟剣詩舞

第五十三回

全国八地区 連絡協議会による 企画番組集

十五時二〇分

〔東日本地区連絡協議会〕
『夢幻の輝』

1 容奇

曾て瓊鉾を下して初めて雪を試む
 紛々たる五節舞容閑なり
 一痕の明月茅渟の里
 幾片の落花滋賀の山
 剣を提げて膳臣虎跡を尋ね
 簾を捲いて清氏竜顔に対す
 盆梅剪り尽して能く客を留め
 済い得たり隆冬無限の艱

新井白石

吟 星野 紫榮

林 煌彩

西岡 緑優

舞 星野 洲虹

荒崎 紫春

武田 紫旭

辻 寛子

荒崎 紫有
鈴木 桃

2 本能寺

本能寺溝は幾尺なるぞ
 吾大事を就すは今夕に在り
 菱粽手に在り菱を併せて食う
 四簷の梅雨天墨の如し
 老の坂西に去れば備中の道
 鞭を揚げて東を指せば天猶お早し
 吾が敵は正に本能寺に在り
 敵は備中に在り汝能く備えよ

頼山陽

吟 石川 春海

大山 宗鵬

野上 吟鴻

舞 五月女凱昂

多嘉良誠翔

野中 紀導

3

月夜荒城の曲を聞く

水野豊州

吟

土澤美岳

加藤契琵琶

栄枯盛衰は一場の夢

相思恩讐悉く塵煙となる

星移り物換るは刹那の事

歲月忽々逝いて還らず

史編読み続く興亡の跡

甲涙幾回か几前に灑ぐ

今夜荒城月夜の曲

哀愁切々当年を憶う

舞

齋木彩染

山田彩綺

舞

中山彩操

灘部彩鈴

舞

梅園初彩

押尾彩綾
小谷野弘彩

〈北海道地区連絡協議会〉

1

天草洋に泊す

頼山陽

舞

八千穂日風姿

桒本朋穂

雲か山か呉か越か

水天髣髴青一髪

万里舟を泊す天草の洋

煙は篷窓に横たわって日漸く没す

瞥見す大魚の波間に躍るを

太白船に当って明月に似たり

『中国五県旅路はるか』

1 和歌・八雲立つ

素 菱 鳴 尊

俳句・神集う

栗 間 耿 史

(鳥根県)

〈山口〉

吟 高 木 法 洲

八雲立つ 出雲八重垣妻籠に

八重垣つくる その八重垣を

神集う 国原雲の彩ふかし

国原雲の 彩ふかし

2 名和長年

安 藤 残 雨

(鳥取県)

〈岡山〉

吟 藤 森 眞 泉

一戦直に進んで 賊軍を殲し

再び天日を回して 妖雲を払わん

船山猶望む 錦旗飄るかと

名和の忠誠 万古薫し

舞 藤 島 恵 隼

犬 飼 劍 翔

杭 田 永 遠

3 赤間が関舟中の作

伊 形 靈 雨

(山口県)

〈広島〉

吟 平 賀 輝 山

長風波を破つて一帆還る

碧海遙かに回る赤間が関

三十六灘行くゆく尽きんと欲す

天辺始めて見る鎮西の山

舞 佐 々 木 翠 滉

勝 矢 翠 月

深 田 翠 容

白 井 翠 画

三 浦 翠 珠

植 元 武 田 翠 萌

4 巖 島
(広島県)

遙かに鼈背を觀れば 一蓬萊
雲々たる雲煙 瑞台を擁す
月は長廊に落ち 灣上静かなり
万燈の星列 波を照らして来る

浅野 坤山

〈広島〉

吟 吉本 藹山

舞 大下 馨風
安長 馨優

杉原 馨仁

平岡 馨静

5 烏 城
(岡山県)

仰ぎ看る烏城 天地の秋
雄姿影を泛べて 旭江流る
独り玉笛を吹けば 月光揺らぎ
醸し出す興亡 千古の愁い

藤上 南山

〈岡山〉

吟 河田 藤泉

舞 今脇 萌山
甲本 南陵

永岡 笙山
奥田 萌麗

内藤 秀山

〈東北地区連絡協議会〉

『福島巡遊』

1 宝船

寿海波平かにして紅旭鮮かなり
遙かに看る宝字錦帆の懸るを
同乗の七福皆笑いを含む
知る是れ金銀珠玉の船

藤野 君山

舞 中根 静褒

日下部 珀蓉静

乘山 トミ子

佐藤 貴子

乘原 信子

檜山 絵静

阿部 慧江静

鈴木 弘子

鈴木 喜美子

岩城 江慧静

川上 昭子

松村 陽子

赤塚 美代子

2 会津の郷を讃う

磐梯の秀麗清流を発し
湖畔一望沃野悠なり
民衆純情朴訥を加え
米精く水甜き桃源郷

中島 天覚

吟 西 吟梢

3 白河 懐古

陸奥の連山白河の郷
栄枯転変幾星霜
霸業の夢を宿す小峰城
阿武隈の清流長えに悠悠たり

村上霞風

吟 高橋 恵風

4 和歌・吹く風を

吹く風を なこそ関とおもへども
道も背に散る山桜かな

源 義家

吟 石川 渾風

〈九州地区連絡協議会〉

『月』

1 和歌・天の原

天の原ふりさけ見れば春日なる
三笠の山に出でし月かも

阿倍 仲麻呂

吟 河野 鶴聲

2 九月十三夜陣中の作

霜は軍営に満ちて秋気清し
数行の過雁月三更
越山併せ得たり能州の景
さもあらばあれ家郷遠征を憶う

上杉 謙信

吟 藤本 誠堂

3 月見れば

大江千里

吟 前田 卓霊

月見れば ちぢにものこそ 悲しけれ
わが身ひとつの 秋にはあらねど

4 月夜荒城の曲を聞く

水野豊州

吟 八代光晃子

栄枯盛衰は一場の夢
相思恩讐悉く塵煙となる
星移り物換るは刹那の事
歲月忽々逝いて還らず
歳月忽々逝いて還らず
史編読み続く興亡の跡
弔涙幾回か几前に灑ぐ

向山 侑珠
恒成光熙子

前田 卓霊
山中梅鈴子
榮 岳蓉

向山 侑真
伊東 響峰

春高樓の花の宴 めぐる盃影さして

千代の松が枝わけ出でし むかしの光いまいづこ

今夜荒城月夜の曲

哀愁切々当年を憶う

〈近畿地区連絡協議会〉

1 大楠公

徳川景山

吟 宮田 虹龍

豹は死して皮を留む豈偶然ならんや
湊川の遺跡水天に連る
人生限り有り名は尽くる無し
楠氏の精忠万古に伝う

萩野 彩城
小谷 集城
樋口 瑩城

稲垣 紫淑
加藤 緑絆
古比谷光晰子
山村 素泉

入口 翠雋
栗田 優岳
滝口 円城

舞 多田 正稔

多田正千世

2 漢江

杜と 牧

吟 安楽島紅景

溶々漾々として白鷗飛ぶ
緑浄く春深うして好し衣を染むるに
南去北来人自ら老ゆ
夕陽長えに送る釣船の帰るを

舞 佐々木穂景

3 己亥の歳

沢国の江山戦図に入る
生民何の計あつてか樵蘇を樂しまん
君に憑つて話す莫かれ封侯の事
一将功成つて万骨枯る

曹松

吟 古川 壽泉

舞 今野 水賀

4 兵児の謡

勝てば是れ官負くれば是れ賊
男子唯応に嶮難を冒すべし
咄嗟曉に鹿兒島を出で
絶叫して夕に渡る太郎山
眼下叢薈たり熊本之城
手に唾して抜くべし立食の間
君見ずや南関北関路歴々
直ちに此の関を破らば一敵無からん

末松青萍

舞 早淵 鯉將

西原 鯉靖

西原 鯉瞳
河村 鯉玖

増井 鯉冠
安藤 鯉翔

〈四国地区連絡協議会〉

『空海の道』

1 舟八島を過ぐ

万里吹き来る波浪の風
往事を追思すれば已に空と成る
青山一带人見えず
唯淡濃烟煙の籠むる有り

正岡子規

吟 佐々木 政風

大西 良風

定國 伯風

堀合 健風

横田 香風

浅井 延風

草薙 賢風

佐藤 撰煌

宮本 舟風

横山 公風

大島 需泉

小竹 勲風

藤本 樹風

村上 匠風

舞 尾松 靈幹

篠原 靈菁

青木 純子

山地 靈秀

井上 靈珀

倉元 靈豊

定國美知子

2

鳴門峡

鳴門の壯觀天下に鳴る
潮流吐吞す三万里
汐は金銀を漲らして百雷呵し
四季の遊客探勝を縦にす

中川 劍岳

吟

安田 水鈴
遠藤 揚苑
原 華錦

野口 瑞博
福井 華好

松浦 水優
福原 祥蓮

舞

吉田 嶽山
西田 光希

吉田 泰山
山内 己夢

吉田 崇稜
吉田 幸稜

3

長曾我部元親

偏に大望を抱きて乱世に挑み
土州の英傑興亡を関す
海南を掌握す覇業を成せし
剛腸卓犖今に到るまで彰らかなり

上本 竹永

吟

瀧下 鵬龍
乾 晋風

長崎 宇岳
長崎 魁山

小松 鵬國

舞

林 靈山
山脇 聡城
澁谷 靈寿

西村 靈洗
林 靈南
谷脇 靈峨

中平 穂城
中村 靈節

4

佐田岬

海波鏡の如く碧瑠璃たり
航過楼船之く所に任す
照らし出す秋陽三千里
佐田の岬背西に向つて披く

小原 六六庵

吟

松井 松聲
藤岡 江心
原 一真

西藤 櫻山
上岡 肱洲

寺尾 恒洲
岩城 竹穹

舞

安東 翠玲
戒能 和翠
井上 厚翠
黒川 翠悠

河端 若翠
山田 丹翠
山内 眉翠
山内 翠華

田中 娟翠
清水 元帥
夷 洵翠
阿部 紅翠

5

後夜仏法僧鳥を聞く

空 海

閑林独坐す草堂の暁
三宝の声一鳥に聞く
一鳥声有り人心有り
声心雲水俱に了々

吟

横山 公風
大西 良風
佐々木政風
藤本 樹風
村上 匠鳳

浅井 延風
草薙 賢風
定國 伯風
堀合 健風
横田 香風

舞

川原 靈宗
和泉 靈花
吉岡 靈裕
植村 靈女
高尾 靈夢

奈良 靈城
永山 靈訓
野方 靈聖
南 靈幸
竹田 靈勇

大島 需泉
小竹 勲風
佐藤 撰煌
宮本 舟風

〈中部地区連絡協議会〉

『龍 煌めく』

1

金龍 夜墨水を下る

服部 南郭

吟

遠藤 晃楓
酒井 南賜

長谷川京楓

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

舞

杉浦 英容
大日方佳容

2

龍馬 坂本龍馬を思う

河野 天籟

吟

綿谷 芳由
原 観湖

鈴木 馨芳

幕雲日を掩うて日將に傾かんとす
南海の臥龍帝京に翔る
一夜狂風幹を折ると雖も
維新の大業君に頼つて成る

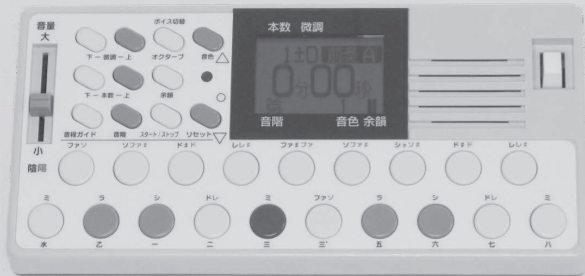
舞

加藤 凜
上岡 眺隆
堀木 咲明

上岡 眺雅

水光社オリジナルチューナー搭載 HT-200 (税込)
「ニューハンディトレナー2」 38,500円

先生方のご希望を叶えたボイスチューナー
 自分の声を「そのまま」表す画期的な機能!



寸法/幅 210mm × 奥行100mm × 高さ30mm

4種類のチューナー搭載！
 ステレオイヤホン対応！
 音色一新・クリアな音質！

自分の声をグラフで確認！
 一押し・スキャンモード



- ・4種類(スキャンモード・矢印:鍵盤・LED)チューナー機能搭載
- ・軽くて持ち運びに便利
- ・4音色、メロディー10曲内蔵
- ・電池で使用可、省エネモード搭載
- ・付属品イヤホン、ソフトケース

HT-100 (税込)
「ニューハンディトレナー」 31,240円



寸法/幅 210mm × 奥行100mm × 高さ30mm

- ・初心者の方には必須楽器
- ・軽くて持ち運びに便利
- ・4音色、メロディー10曲内蔵
- ・電池で使用可、省エネモード搭載
- ・付属品イヤホン、ソフトケース

買い替え応援下取りサービス ニューハンディトレナー 31,240円
 6,000円お値引！
 下取り -6,000円
下取割 合計 25,240円

「ニューハンディトレナー」HT-100を
 すでにお持ちの方へご案内

「ニューハンディトレナー」HT-100に
 新機種「ニューハンディトレナー2」HT-200
 同等の機能をつける事が出来ます！
 お気軽にお問い合わせください。

UP.GRADE代 **12,760円** (税込)

オプション品



※送料は全国一律970円 ※お支払いは分割も可
 ※アダプターのみ場合は640円 (分割手数料当社負担)
 ※2台以上のご購入は送料無料 ※修理品下取り品の送料は
 ※お値引きサービスの併用不可 お客様負担となります。

お稽古をより豊かに 大型・本格的なお稽古におすすめ
トレナー「絆」 87,780円 (税込)



寸法/幅 300mm × 奥行210mm × 高さ55mm

- ・吟剣詩舞振興会コンクール伴奏内蔵
- ・ボディカラー2色
- ・純・吟剣詩舞振興会コンクール伴奏内蔵
- ・単音、和音切り替え可能
- ・君が代、オーケストラなど
- ・マイク入力拡声機能
- 総伴奏数 57曲

「絆」をさらに
 便利な楽器へ **USB拡張基板 6,050円** (税込)

- ◇お手持ちのCDをそのまま絆で再生
- ◇市販のUSBメモリを使用
- ◇±5本の本数変更可能
- ご自身でご用意いただき
- 自由にご利用いただけます。



すでに絆本体をお持ちの方は
 お問い合わせください。

買い替え応援下取りサービス **1,0000円お値引!**
下取割
 トレナー絆 87,780円
 USB拡張基板 6,050円
 下取り -10,000円
合計 83,830円

先生方と共に歩む
(株)水光社

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-19-1
 伊藤ビル401
 TEL 03-3986-5631 ☎0120-5631-88
 FAX 03-3986-8832



4

蒼龍 日本刀を詠ず

蒼龍猶お未だ雲霄に昇らず
 潜んで神州剣客の腰に在り
 髯虜塵にせんと欲す策無きに非ず
 容易に汚す勿れ日本刀

徳川光圀

吟 浅田 聖謙
 舞 入倉 昭星

入倉 壮星

長澤 鷗星

3

神龍 富士山

仙客来り遊ぶ雲外の巔
 神竜棲み老ゆ洞中の淵
 雪は純素の如く煙は柄の如し
 白扇倒しまに懸る東海の天

石川丈山

吟 塩澤 宗鳳

舞 見城 星舟
 宇津木 星青龍
 加藤 奈津美

見城 星梅月
 佐野 星丹
 市川 莉奈

飯嶋 國分
 星粹 星環

令和五年度全国吟詠合吟コンクール 入賞団体発表と表彰及び大合吟

〈大合吟〉

吟剣詩舞道讃歌

笹川 良一

あした ぎん ゆうべ も 朝に吟じ夕に舞うて心身を練り
 れいせつじ きた なが しん やしの 礼節持し来つて互いに真を養う
 せかい いっかみなわ とも 世界は一家皆我が友
 ねが 願わくは斯道を興して人倫を正さん



公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会 会詩
 笹川良一 創始会長 書

〈財団公認各吟剣詩舞道総連盟代表〉

富山	長野	愛知	東京	埼玉	千葉	茨城	群馬	栃木	秋田
松澤	白井	遠藤	毛塚	清水	石井	池田	齋藤	黒田	館岡
天楓	寛洲	晃楓	静精	錦洲	桃苑	嶺煌	心晃	秀月	奥鵬

熊本	長崎	高知	徳島	愛媛	島根	鳥取	三重	岐阜	石川
伊東	藤本	林	原田	松井	中林	佐藤	堀口	山本	北瀬
秀峰	誠堂	霊山	瑞祥	松聲	涼風	翔風	孝心	演志	岳櫻

全国吟詠合吟コンクール入賞団体発表と
 表彰及び大合吟

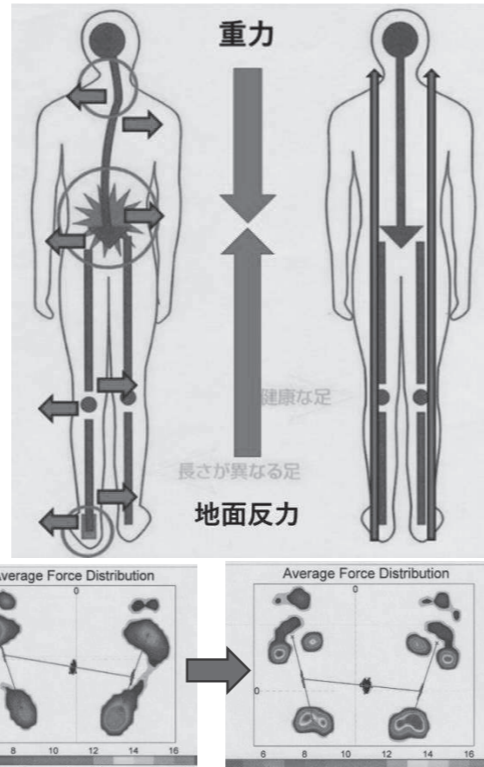
一七時四五分〜

身体の土台、足裏から調律することで発声が変わります！

真人の息は踵（かかと）を以てし、衆人の息は喉を以てす 『莊子』



会場にて無料体験実施！
姿勢変化をご体感ください！



末永く詩吟を楽しむ為、自身の足腰を守り鍛えるLOFEアーチサポートを活用ください！

LOFE アーチサポートはオーダーメイド方式のインソールです。踵・小趾球・拇趾球に荷重を分散させることにより、骨格を真っ直ぐ立たせ、意識することなく正しい姿勢へと導きます。スポーツではフォーム改善や怪我の予防などコンディショニングのために、病院や介護施設では立ち姿勢や歩行訓練に欠かせないリハビリアイテムとして採用されています。



ロフェアーチサポートは足裏から姿勢を整え、「生涯自分の脚で」を応援します。

考えよう暮らし
ジョイライフ
グループ
<https://joy-life.co.jp/>

一般財団法人
日本バランスポスチャリスト財団

お問い合わせ先 **株式会社水光社**

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-19-1 伊藤ビル 401

0120-5631-88(無料)

ヒアリング パートナー

補聴器専門店 bloom™

補聴器専門店「ブルーム」グループの店舗は、全国ネットワーク。首都圏および地方も合わせて101の店舗でサービスを展開、専門のスタッフが丁寧に対応させていただきます。お客様の聞こえの悩みをお気軽にご相談ください。

こちらのパンフレットご持参で

補聴器 + **補聴器**

2週間お試し **無料!** + **5%割引** (カタログ価格より)

期間限定: 2024年3月31日(日)まで

※障害者総合支援購入基準該当品及び補聴器購入サポートによるご購入は対象外
※補聴器本体のみ適用 ※他のキャンペーン割引との併用不可

まず一度、お近くのブルームにお電話ください!

新宿店 Tel.03-5325-4833	渋谷店 Tel.03-3406-3341	有楽町店 (日曜も営業) Tel.03-3201-4133	銀座店 Tel.03-3544-3268	錦糸町店 Tel.03-5619-4133	池袋店 (日曜も営業) Tel.03-3981-3311
赤羽店 (日曜も営業) Tel.03-3903-2286	自由が丘店 (日曜も営業) Tel.03-3724-3341	戸越銀座店 Tel.03-6421-5911	二子玉川店 (日曜も営業) Tel.03-6447-9833	蒲田店 Tel.03-5744-8661	神田店 (日曜も営業) Tel.03-3256-4735
中野店 Tel.03-5318-1733	新高円寺店 Tel.03-6304-9001	吉祥寺店 (日曜も営業) Tel.0422-28-7800	武蔵小金井店 Tel.042-401-2309	立川店 Tel.042-522-3312	立川店 (東京補聴器) Tel.042-523-7741
仙川店 Tel.03-5315-7150	八王子北口店 Tel.042-649-1493	八王子南口店 Tel.042-627-0201	福生店 Tel.042-530-2601	町田店 (日曜も営業) Tel.042-739-4133	
横浜西口店 (日曜も営業) Tel.045-319-1133	横浜東口店 Tel.045-450-5580	関内店 Tel.045-319-6262	菊名店 Tel.045-633-8334	横浜 センター南店 Tel.045-949-2133	杉田店 Tel.045-770-1733
川崎店 Tel.044-280-8933	相模大野店 Tel.042-701-0008	藤沢店 (日曜も営業) Tel.0466-22-4133	小田原店 (日曜も営業) Tel.0465-22-5318		
市川店 Tel.047-321-4137	船橋店 Tel.047-426-3311	千葉駅前店 (日曜も営業) Tel.043-202-0303	松戸店 Tel.047-368-4133	川越店 Tel.049-229-4133	本川越店 Tel.049-277-4053
大宮店 Tel.048-645-4833	武蔵浦和店 Tel.048-799-2283	つくば店 Tel.029-860-3341			
沼津店 Tel.055-963-4388	掛川店 Tel.0537-22-3232	宇都宮店 Tel.028-600-0203			
小山店 Tel.0285-39-8571	大田原店 Tel.0287-24-2024				

右記の二次元コードからもWEBサイトへアクセスでき、店舗情報をご覧いただけます。



〈出演〉

(公財) 日本吟剣詩舞振興会

吟詠・剣舞・詩舞諸流宗家・会長・会員

〈スタッフ〉

舞台監督

松本 仁志

音楽

舩川 利夫

河野 正明

小野 尊由

渡辺 剛康

音楽コーディネーター

さんしゃいん社

音響効果

小西 幸久

音響操作

(株)フリーダムサウンド

照明操作

(株)六工房

〈制作統括〉

(公財) 日本吟剣詩舞振興会



公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

NIPPON GINKENSHIBU FOUNDATION

一〇五-〇〇〇-一 東京都港区虎ノ門三-四-一〇 (虎ノ門三五森ビル)

電話 〇三-六七二-一五九五〇

会場での録音、録画はいつさいお断りします。
なお当日会場に録音、録画機器を持ちこむことはできません。

市川市文化会館大ホール
千葉県市川市大和田一丁目一番五号
電話 〇四七-三七九-五一一一

貴方の華麗な技を、衣裳でサポート……

袴 (御仕立上り) ¥36,000~

紋付 (御仕立上り) ¥25,000~

角帯 ¥ 8,000~

- ・御希望の寸法、型式に御仕立いたします。
 - ・御気軽にお問い合わせください。
- オリジナルカタログをお送りいたします。

廣部商事株式会社

〒604-0024
京都市中京区衣棚通御池上ル
電話 (075) 221-8525 (代)
FAX (075) 221-8526

<http://www.hirobe-shoji.co.jp>

ひろべ商事 ウェブ検索

吟剣詩舞用
袴・紋付・特殊衣装
角帯・和装品